



傷害保険の概況

平成27年度
傷害保険の概況

平成28年（2016年）3月発行

発行 損害保険料率算出機構（損保料率機構）
総務企画部広報グループ

〒163-1029

東京都新宿区西新宿3-7-1 新宿パークタワー29F

TEL 03 (6758) 1300 (代表)

URL <http://www.giroj.or.jp/>



General Insurance Rating Organization of Japan

損害保険料率算出機構

はしがき

損害保険料率算出機構では、損害保険における保険料のもととなる保険料率（参考純率および基準料率）を算出し、会員である損害保険会社に提供しています。

本書は、傷害保険を対象に、統計数値などを用いて、その仕組みや一般的な補償内容、収支動向などを、既にご契約されている方、これからご契約をお考えの方などにお知らせするものです。

本書が、皆様に損害保険をご理解いただく一助になることを願っております。

なお、本書のエッセンスをまとめた簡易版として「これでナットク！損害保険のカカク」を別途発行しております。こちらをご覧ください。

平成28年3月

損害保険料率算出機構

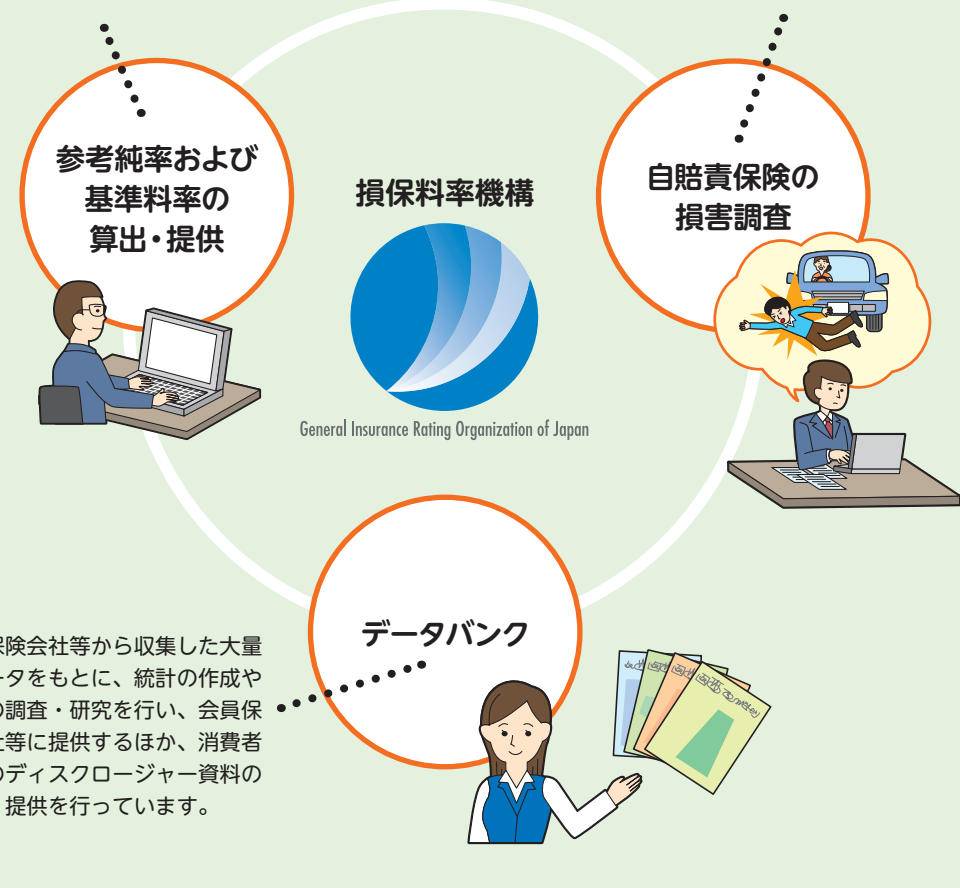
損害保険料率算出機構（損保料率機構）とは

損害保険料率算出機構（損保料率機構）は、損害保険料率算出団体に関する法律（料団法）に基づいて設立された団体（非営利の民間の法人）であり、損害保険会社を会員とする組織です※1 ※2。

当機構は、「損害保険業の健全な発達と保険契約者等の利益の保護」という社会的な使命を果たすため、主に以下の3つの業務に取り組んでいます。

自動車保険、火災保険、傷害保険、介護費用保険の参考純率および自賠責保険、地震保険の基準料率を算出し、会員保険会社に提供しています。

公正かつ適正に自賠責保険の保険金の支払いが行われるよう自賠責保険の損害調査を行っています。そのため、全国に自賠責損害調査事務所を設置しています。



※1 昭和23年（1948年）11月1日に、損害保険料率算定会が設立され、昭和39年（1964年）1月8日に、自動車保険料率算定会が、損害保険料率算定会から分離・独立して設立されました。その後、平成14年（2002年）7月1日に両算定会が統合し、当機構が業務を開始しました。
 ※2 損害保険会社は、当機構が参考純率や基準料率を算出する保険種類ごとに当機構に加入、脱退することができます。会員保険会社数は39社（平成28年3月1日現在）です。

当機構の概要は、ホームページ掲載の「損害保険料率算出機構 組織のご案内」をご参照ください。

目次

はしがき 1
 損害保険料率算出機構（損保料率機構）とは 2
はじめに 損害保険とは 4

第Ⅰ部 傷害保険の制度概要

1 傷害保険の仕組み 6
 2 傷害保険の概要
 ① 主な傷害保険の種類 8

第Ⅱ部 傷害保険

1 傷害保険とは
 ① 傷害保険の保険約款 10
 ② 傷害保険の補償内容 11
 ③ 傷害保険標準約款 17
 2 傷害保険の保険料率
 ① 傷害保険の保険料率の概要 18
 ② 傷害保険の参考純率の算出 23
 ③ 傷害保険の参考純率の算出後の流れ 25
 ④ 傷害保険の参考純率の検証と改定 26
 3 傷害保険の現況
 ① 保険料（収入）の状況 27
 ② 保険金（支払い）の状況 28
トピックス
 ① 高齢化の進展 31
 ② 海外旅行傷害保険における医療費水準および為替の影響 32

第Ⅲ部 からだに関する保険関連の統計

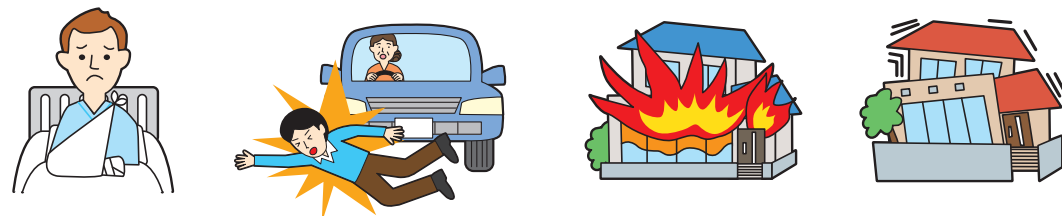
1 傷害保険統計 34
 2 関連情報 54

はじめに — 損害保険とは

1 保険の役割

保険は、多くの人がお金を出し合い、万が一のことが起こった場合に、出し合ったお金の助け合う制度です。

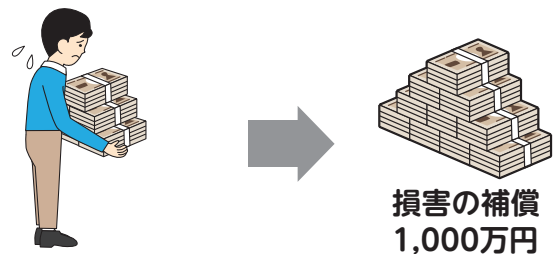
日常生活には、大ケガや重病、交通事故、火災、台風、地震、盗難など非常に多くの「万が一のこと」が潜んでいます。こうした「万が一のこと」は、健康管理や安全運転に心がけるなど、できるだけ回避するに越したことはありません。しかし、どれだけ気をつけていても「万が一のこと」が起きてしまう可能性があります。



例えば、「家が火事で焼けてしまう」ことが1万人に1人の確率で起こり、その損害が1,000万円であるとして、1万人のうちの誰がそのような災害に遭うのかわかりません。このような事態に備える方法として、次の2つが考えられます。

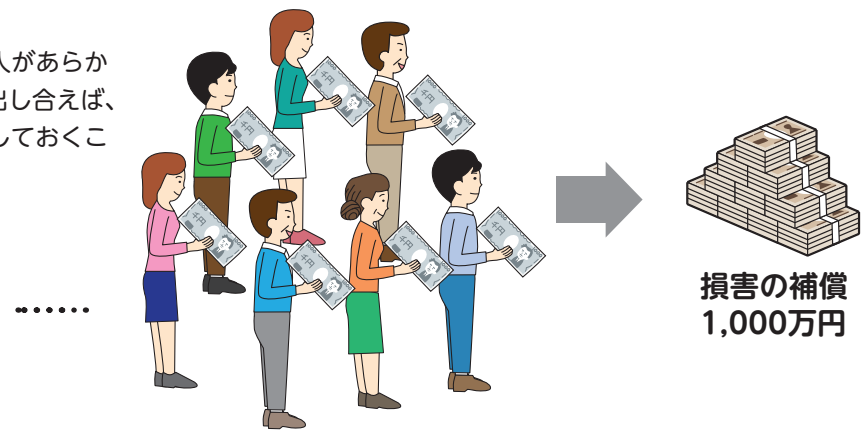
貯蓄

1万人の人が皆それぞれに、1,000万円を用意しておく必要があります。



保険

例えば1万人の人があらかじめ1,000円ずつ出し合えば、1,000万円を用意しておくことができます。



このように保険は、保険契約者一人一人が少しずつお金を出し合い、「万が一のこと」が起こった場合に出し合ったお金の助け合う制度で、少ない負担で大きな安心を得ることができます。

2 保険の分類

保険には、公営のものと民営のものがあり、それぞれ大きく分けて損害保険と生命保険があります。

保険には、その運営主体によって公営保険と民営保険があります。公営保険は、政府などの公的機関が社会政策や経済政策など公共政策上の目的を達成するために運営している保険であり、国民健康保険や国民年金、雇用保険などがあります。民営保険は、民間の保険会社が販売している保険です*。

また、保険には、備える「万が一のこと」の種類によって大きく分けて損害保険と生命保険があります。損害保険は交通事故や火災など偶然の事故に、生命保険は人の死亡などに、それぞれ備えるものです。

*民営保険に該当する保険であっても、自動車損害賠償責任保険は自動車による人身事故の被害者救済を目的として法令で契約が義務付けられている保険であり、地震保険は地震等による被災者の生活の安定に寄与することを目的として法令で定められた損害を補償する保険であるなど、社会政策的な側面をもつ保険もあります。

3 損害保険の種類

民間の保険会社が販売している損害保険には、くるまに関する保険、すまいに関する保険、からだに関する保険など、さまざまな種類があります。

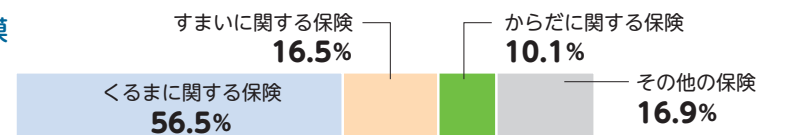
■損害保険の商品の例

| | | |
|-----------|---------------------|--|
| くるまに関する保険 | 自動車損害賠償責任保険 (自賠責保険) | 法律で契約が義務付けられている保険で、自動車事故によって他人を死傷させ、損害賠償責任を負った場合に、一定の限度額まで保険金が支払われます。 |
| | 自動車保険 | 自動車事故によって他人を死傷させ、損害賠償責任を負った場合に、自賠責保険から支払われる額の超過部分に対して保険金が支払われるほか、他人の財物を壊して損害賠償責任を負った場合、自身・搭乗者が死傷した場合または自分の自動車に損害を被った場合に保険金が支払われます。 |
| すまいに関する保険 | 火災保険 | 火災をはじめ、落雷や破裂・爆発、風災、雪災、盗難などにより、建物や家財に損害が生じた場合に保険金が支払われます (事務所や工場なども含みます)。 |
| | 地震保険 | 地震や噴火またはこれらによる津波により、居住用建物や家財に損害が生じた場合に保険金が支払われます。 |
| からだに関する保険 | 傷害保険 | 日常生活の事故などによって死傷した場合に保険金が支払われます。 |
| | 医療保険 | ケガや病気によって入院した場合や手術を受けた場合に保険金が支払われます。 |
| その他の保険 | 個人賠償責任保険 | 日常生活の事故によって他人を死傷させたり、他人の財物を壊して損害賠償責任を負った場合に保険金が支払われます。 |
| | 所得補償保険 | ケガや病気などによって働けなくなった場合に保険金が支払われます。 |
| | 海上保険 | 航海中に沈没、転覆、座礁などにより、船舶や積荷に損害を被った場合に保険金が支払われます。 |
| | 運送保険 | 陸上輸送や航空輸送などの最中に衝突、脱線、墜落などにより、積荷に損害を被った場合に保険金が支払われます。 |

memo

損害保険会社のマーケット規模

平成26年度の元受正味収入保険料は約8兆8,687億円です。その内訳は右のとおりです。

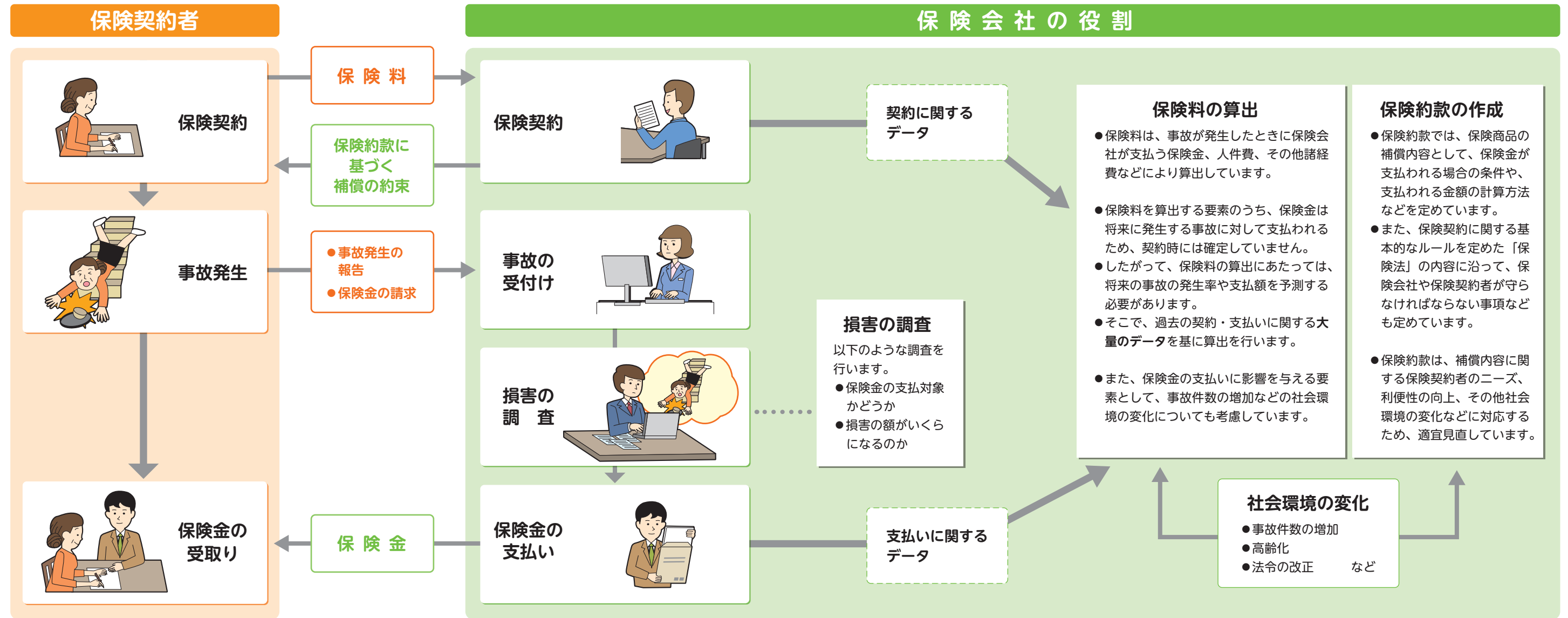
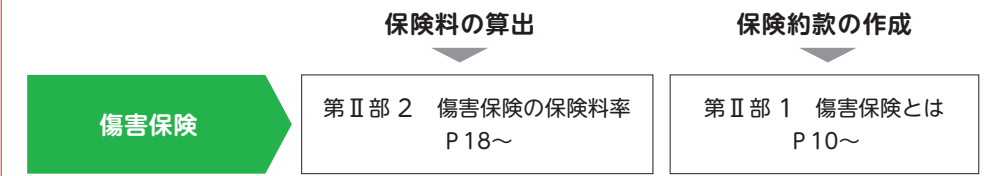


*[平成27年版 インシュアランス損害保険統計号] (株式会社 保険研究所) より作成。

1 傷害保険の仕組み

保険契約者は、補償内容などを定めた「保険約款」に基づいて保険会社と契約を行い、「保険料」を支払うことにより、将来事故が発生したときの補償を得ることができます。
 「保険料」は過去の契約・支払いに関するデータなどにより算出しており、「保険約款」は補償内容に関する保険契約者のニーズや社会環境の変化などを踏まえて適宜見直しています。

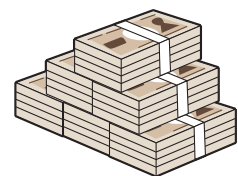
▶ 傷害保険の詳細はこちらに記載しています。



memo

保険料と保険金の違いは？

保険料とは、将来事故が発生したときの補償を得るために、保険契約者が保険会社に支払うお金をいいます。
 保険金とは、事故により損害が発生したときに、保険会社が支払うお金をいいます。



memo

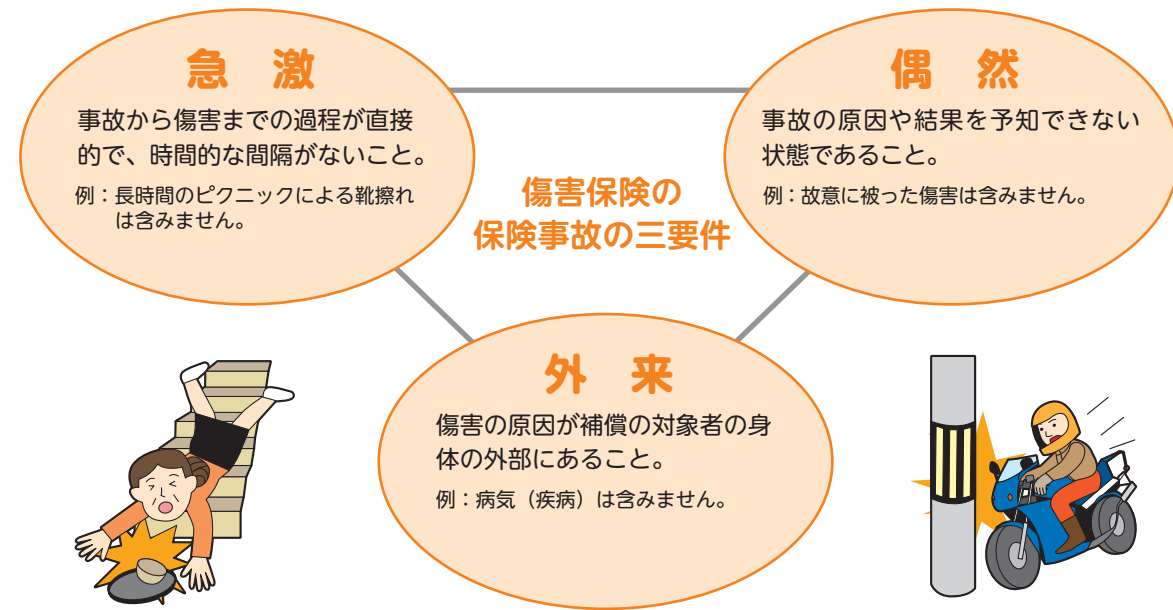
なぜ大量のデータを用いるの？

例えば、サイコロを振る回数を何千回、何万回と増やしていくほど、それぞれの目の出る割合は6分の1に近づいていきます。このように、一見偶然に見える事象であっても、データを大量に収集することによって、その事象がある一定の法則をもって発生していることがわかります。
 これを「大数の法則」といい、事故が発生する確率や支払われる保険金を算出する際には、この法則を十分に機能させるため、大量のデータを用いています。



2 傷害保険の概要

傷害保険は、日常生活での事故や交通事故などによって起こるケガ（傷害といいます）を補償する保険です。傷害ならば何でも保険金が支払われるというわけではなく、以下の要件を満たす事故による傷害に対して保険金が支払われます。



1 主な傷害保険の種類

傷害保険には、補償内容ごとに主に以下の種類があります。

(1) 普通傷害保険

国内・国外を問わず、家庭内、職場内、学校内、通勤通学途上および旅行中など、日常生活のなかで起こるさまざまな傷害を補償します。



(2) 家族傷害保険

普通傷害保険が個人を対象とするのに対し、家族全員を補償の対象とすることができる保険です。補償内容は普通傷害保険と同様です。

※家族傷害保険の補償の対象者は以下のとおりです。

- ①本人
- ②本人の配偶者
- ③本人または配偶者と生計を共にする同居の親族
- ④本人または配偶者と生計を共にする別居の未婚の子
(例：仕送りを貰って一人暮らしをしている学生など)



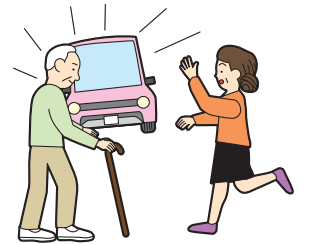
(3) 交通事故傷害保険

国内・国外を問わず、主として交通事故による傷害を補償する保険です。また、乗り物の火災による傷害も対象としています。



(4) ファミリー交通傷害保険

交通事故傷害保険が個人を対象とするのに対し、家族全員を補償の対象とすることができる保険です。補償内容は交通事故傷害保険と同様です。
※ファミリー交通傷害保険の補償の対象者は、家族傷害保険と同様です。



(5) 国内旅行傷害保険

国内旅行中（旅行の目的のために家を出発してから帰宅するまでの間）の傷害を補償する保険です。



(6) 海外旅行傷害保険

海外旅行中（旅行の目的のために家を出発してから帰宅するまでの間）の傷害のほか、病気、賠償損害、携行品損害、救援者費用（例：補償の対象者が旅行先で死亡、入院または遭難により救助を要した場合に捜索救助、移送または現地に赴くために支出した費用）などについて補償する保険です。



➡ 傷害保険は上記以外にもさまざまな種類があります。なお、この資料では上記(1)～(6)の傷害保険について、第II部 1 傷害保険とは(P10)で詳しく説明しています。

1 傷害保険とは

傷害保険は各保険会社が独自に商品開発を行っているため、保険約款の内容は各保険会社によって異なります。



※一般的な傷害保険契約に関する説明には [←一般的な傷害保険契約](#) と記載し、傷害保険参考純率に関する説明には [←傷害保険参考純率](#) と記載しています。

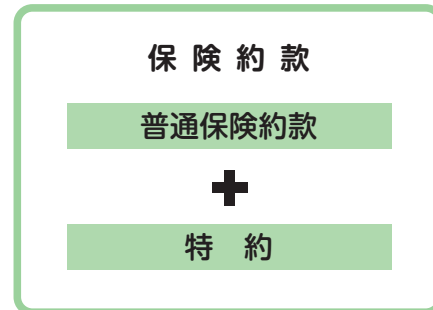
1 傷害保険の保険約款

傷害保険の契約において使用される保険約款では、傷害保険の補償内容として、保険金が支払われる場合の条件や、支払われる金額の計算方法などを定めています。

[←一般的な傷害保険契約](#)

■保険約款の構成

傷害保険の約款には、基本となる補償内容および契約手続きに関する事項を定めた普通保険約款と、オプションとなる補償内容など普通保険約款の内容に追加・変更を行う特約があります。



▶ 主な特約については、2(3)主な特約の内容 (P 16) をご参照ください。

2 傷害保険の補償内容

以下では、傷害保険の一般的な補償内容を説明していますが、実際の補償内容は各保険会社が販売している保険の内容や契約者の方が選択される内容によって異なります。

(1) 各保険の補償内容

[←一般的な傷害保険契約](#)

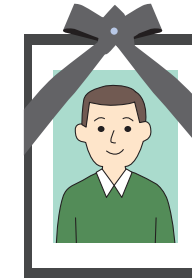
傷害保険は、傷害などの内容に応じて、支払われる保険金の種類と支払われる保険金の額が異なります。

① 普通傷害保険・家族傷害保険・交通事故傷害保険・ファミリー交通傷害保険・国内旅行傷害保険の補償内容

■死亡保険金

●保険金が支払われる場合

傷害発生からその日を含めて180日以内に死亡した場合



●支払われる保険金の額

契約時に設定した金額
(保険金額)

■後遺障害保険金

●保険金が支払われる場合

傷害発生からその日を含めて180日以内に後遺障害が生じた場合



●支払われる保険金の額

契約時に設定した金額
(保険金額)

×

後遺障害の程度に応じた
所定の割合

■入院保険金

●保険金が支払われる場合

傷害発生からその日を含めて180日以内に入院した場合



●支払われる保険金の額

契約時に設定した金額
(入院保険金日額)

×

入院日数 (180日を限度)

■ 通院保険金

● 保険金が支払われる場合

傷害発生からその日を含めて180日以内に通院した場合



● 支払われる保険金の額

契約時に設定した金額
(通院保険金日額)

×

通院日数 (90日を限度)

■ 手術保険金

● 保険金が支払われる場合

傷害発生からその日を含めて180日以内に手術を受けた場合



● 支払われる保険金の額

(1) 入院中に受けた手術の場合

契約時に設定した金額
(入院保険金日額)

× 10

(2) (1) 以外の手術の場合

契約時に設定した金額
(入院保険金日額)

× 5

■ 部位・症状別保険金*

● 保険金が支払われる場合

傷害発生からその日を含めて180日以内に治療を受けた場合



● 支払われる保険金の額

(1) 治療日数が5日以上の場合

契約時に設定した金額
(部位・症状別保険金額)

×

傷害が生じた部位および
症状に応じた所定の倍率

(2) 治療日数が5日未満の場合

契約時に設定した金額
(部位・症状別保険金額)

*特約を付帯することによって支払われる保険金です。
なお、国内旅行傷害保険にはこの特約はありません。

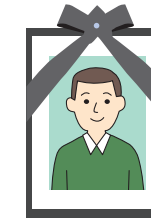
② 海外旅行傷害保険の補償内容

海外旅行傷害保険は、支払われる保険金が特約で規定されており、これらの特約を組み合わせることで補償内容を決定します。

■ 傷害死亡保険金

● 保険金が支払われる場合

旅行中の傷害発生からその日を含めて180日以内に死亡した場合



● 支払われる保険金の額

契約時に設定した金額
(傷害死亡保険金額)

■ 傷害後遺障害保険金

● 保険金が支払われる場合

旅行中の傷害発生からその日を含めて180日以内に後遺障害が生じた場合



● 支払われる保険金の額

契約時に設定した金額
(傷害後遺障害保険金額)

×

後遺障害の程度に応じた
所定の割合

■ 傷害治療費用保険金

● 保険金が支払われる場合

旅行中の傷害発生からその日を含めて180日以内に治療を受けた場合



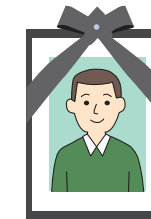
● 支払われる保険金の額

契約時に設定した金額
(傷害治療費用保険金額)
を上限とする治療のために
実際に支出した金額

■ 疾病死亡保険金

● 保険金が支払われる場合

旅行中の疾病発生により死亡した場合など



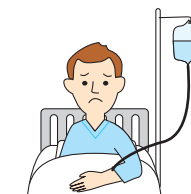
● 支払われる保険金の額

契約時に設定した金額
(疾病死亡保険金額)

■ 疾病治療費用保険金

● 保険金が支払われる場合

旅行中の疾病発生により治療を受けた場合など



● 支払われる保険金の額

契約時に設定した金額
(疾病治療費用保険金額)
を上限とする治療のために
実際に支出した金額

■ 救援者費用等保険金

● 保険金が支払われる場合

補償の対象者が旅行先で死亡、入院または遭難により救助を要した場合など



● 支払われる保険金の額

契約時に設定した金額（救援者費用等保険金額）を上限とする捜索救助、移送または現地へ赴くために実際に支出した金額

※上記のほかに、傷害治療費用保険金、疾病治療費用保険金および救援者費用等保険金をセットにした「治療・救援費用保険金」があります。

(2) 保険金が支払われない場合

次の場合には、保険金は支払われません。

← 一般的な傷害保険契約

① 普通傷害保険・家族傷害保険・交通事故傷害保険・ファミリー交通傷害保険・国内旅行傷害保険の一例

| | | |
|---------------------------------|---|-----------|
| <p>保険契約者または補償の対象者の故意、重大な過失※</p> | <p>無資格運転、酒気帯び運転</p> | <p>疾病</p> |
| <p>地震、噴火またはこれらによる津波</p> | <p>山岳登山、スカイダイビングなどの約款上で定められている危険な運動</p> | <p>戦争</p> |

※家族傷害保険およびファミリー交通傷害保険の場合、保険金が支払われないのは、その補償の対象者の被った傷害に限ります（例：本人が故意に事故を起こし、本人と配偶者が共に傷害を被った場合、配偶者の傷害については保険金が支払われます）。

② 海外旅行傷害保険の一例

海外旅行傷害保険は、保険金の種類によって保険金が支払われない場合が異なります。

■ 傷害死亡保険金、傷害後遺障害保険金、傷害治療費用保険金

| | |
|--------------------------------|---------------------|
| <p>保険契約者または補償の対象者の故意、重大な過失</p> | <p>無資格運転、酒気帯び運転</p> |
| <p>疾病</p> | <p>戦争</p> |

■ 救援者費用等保険金、治療・救援費用保険金

| | | |
|----------------------------------|-----------------------|-----------|
| <p>保険契約者または補償の対象者の故意、重大な過失※1</p> | <p>無資格運転、酒気帯び運転※2</p> | <p>戦争</p> |
|----------------------------------|-----------------------|-----------|

※1 補償の対象者が自殺行為を行い、定められた期間に死亡した場合には、救援などのために負担した諸費用に対して保険金が支払われます。

※2 無資格運転などにより被った傷害によって、定められた期間に死亡した場合には、救援などのために負担した諸費用に対して保険金が支払われます。

■ 疾病死亡保険金、疾病治療費用保険金

| | |
|--------------------------------|-----------|
| <p>保険契約者または補償の対象者の故意、重大な過失</p> | <p>戦争</p> |
|--------------------------------|-----------|

(3) 主な特約の内容

←一般的な傷害保険契約

主な特約については以下のとおりです。
 ※なお、海外旅行傷害保険には以下の特約はありません。

① 普通傷害保険・家族傷害保険・交通事故傷害保険・ファミリー交通傷害保険

<補償範囲を縮小する特約>

| | |
|------------------------|--|
| 死亡保険金および後遺障害保険金のみの支払特約 | 支払われる保険金の種類を死亡保険金および後遺障害保険金のみ限定します。 |
| 後遺障害等級限定（第〇級以上）補償特約 | 後遺障害保険金の支払われる後遺障害の範囲を限定します。 |
| 夫婦特約 | 補償の対象者を本人および配偶者のみに限定します。 （家族傷害保険およびファミリー交通傷害保険のみ） |
| 入院保険金支払限度日数変更特約 | 入院保険金の支払限度日数（180日）を短縮します。 |
| 通院保険金支払限度日数変更特約 | 通院保険金の支払限度日数（90日）を短縮します。 |

<補償を拡充する特約>

| | |
|-------------------------|--------------------------------------|
| 後遺障害保険金の追加支払に関する特約 | 既に支払われた後遺障害保険金と同じ額の後遺障害保険金が追加支払されます。 |
| 入院保険金および通院保険金の7日間2倍支払特約 | 入院または通院をした場合、その期間の最初の7日間の保険金を2倍にします。 |

② 国内旅行傷害保険

<補償範囲を縮小する特約>

| | |
|------------------------|-------------------------------------|
| 死亡保険金および後遺障害保険金のみの支払特約 | 支払われる保険金の種類を死亡保険金および後遺障害保険金のみ限定します。 |
|------------------------|-------------------------------------|

3 傷害保険標準約款

←傷害保険参考純率

当機構で作成する保険約款を標準約款といいます。
 当機構では、傷害保険の参考純率を算出していますが、その算出にあたっては、契約内容や補償内容が確定していることが必要となるため、算出の前提となる補償内容などを別途定めています。これを保険約款という形で示したものを傷害保険標準約款といい、参考資料として、保険会社に提供しています。

■傷害保険標準約款の種類



2 傷害保険の保険料率

傷害保険の保険料率とは、保険金額に対する保険料の割合を表します。

1 傷害保険の保険料率の概要

(1) 傷害保険の保険料率

←一般的な傷害保険契約

傷害保険の保険料率とは、保険金額に対する保険料の割合を表し、保険料は保険金額に比例します*。例えば、保険料率が0.003であった場合、保険金額を1,000万円で契約すると、保険料は3万円(=1,000万円×0.003)となり、保険金額を2,000万円で契約すると、保険料は6万円となります。

保険契約者が支払う傷害保険料は、補償の対象者の職種などの料率区分に応じたものとなっています。なお、保険料率は「純保険料率」と「付加保険料率」から成り立っています。

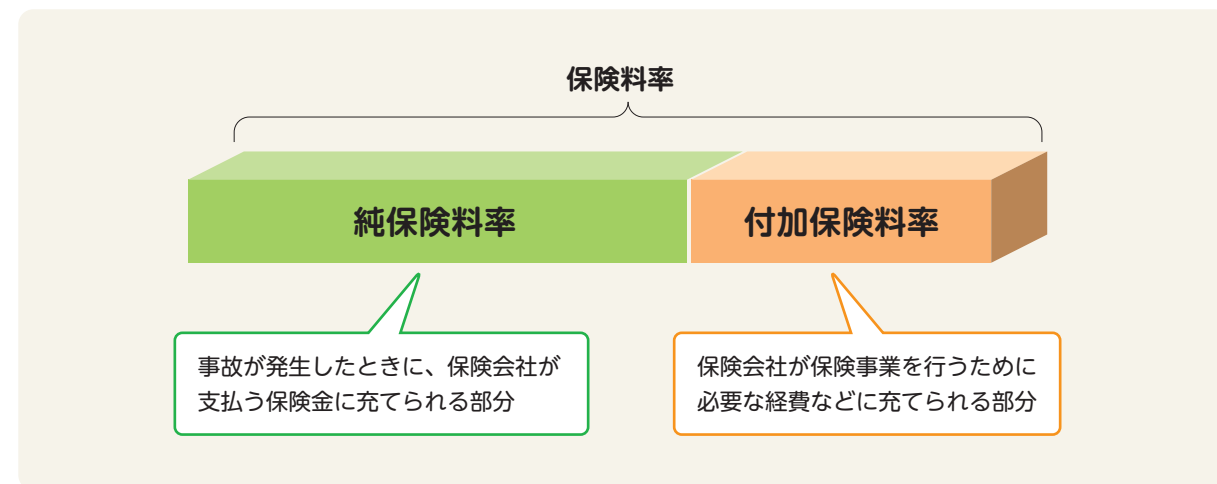
➡ 料率区分の詳細は、(4)傷害保険の料率区分(P20)をご参照ください。

保険金額とは？

支払われる保険金の上限額をいい、契約時に定めます。なお、入院および通院における保険金額は、「保険金日額」(1日の入院または通院に対して支払われる保険金の上限額)といえます。

*海外旅行傷害保険における傷害治療費用や疾病治療費用など、保険金額を上限として実際に支出した金額を支払う補償については、保険料は保険金額比例ではありません。

■ 保険料率の構成



memo 保険会社が販売する保険商品の「保険料率」と当機構が算出する「参考純率」との関係

- 「参考純率」とは、料率算出団体が算出する「純保険料率」のことです。当機構では料率算出団体として、保険会社から収集した大量のデータを基に傷害保険の「参考純率」を算出し、保険会社に提供しています。
- 保険会社は、自社の「保険料率」を算出する際の基礎として、「参考純率」を使用することができます。
- 付加保険料率部分については、保険会社が独自に算出します。

(2) 保険料率の3つの原則

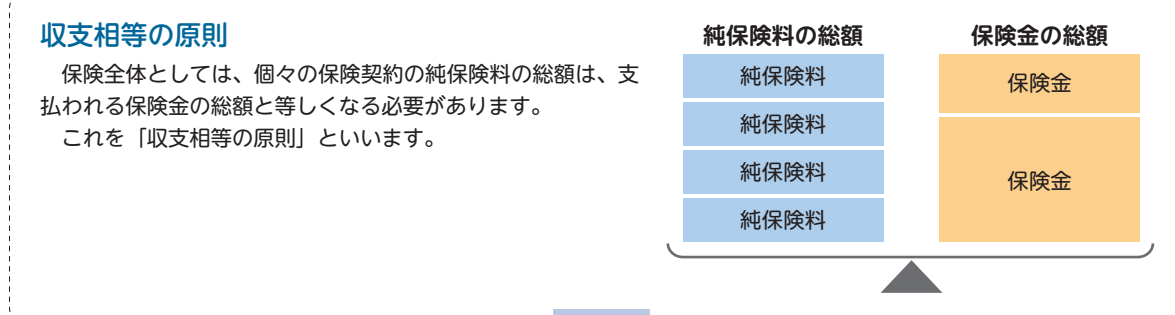
←一般的な傷害保険契約

保険料率は、「合理的・妥当・不当に差別的でない」という3つの原則に基づいて算出する必要があります。参考純率についても、この「保険料率の3つの原則」に基づいて算出をしています。

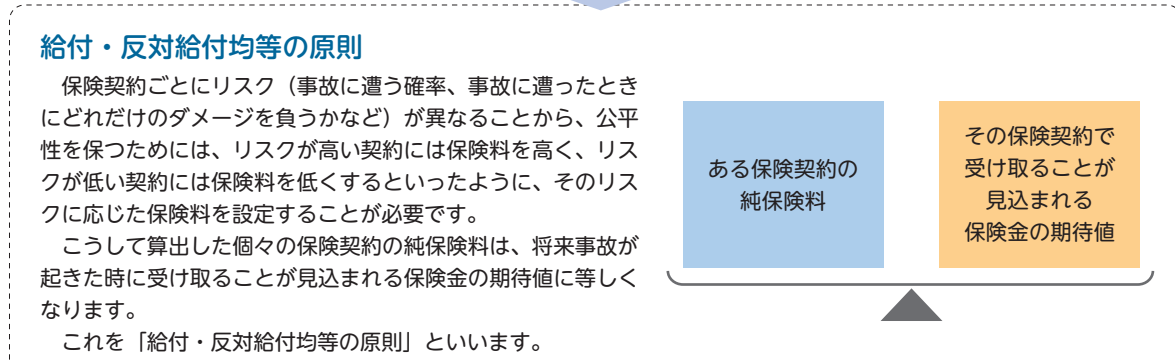
参考純率における3つの原則の具体的な内容は次のとおりです。

| 合理的 | 妥当 | 不当に差別的でない |
|---|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ●算出に用いる保険統計その他の基礎資料が、客観性があり、かつ、精度の高い十分な量のものであること。 ●算出が、保険数理に基づく科学的な方法によるものであること。 | <ul style="list-style-type: none"> ●将来の保険金の支払いに充てられることが見込まれる純保険料率として、過不足が生じないと認められるものであること。 | <ul style="list-style-type: none"> ●危険の区分や水準が、実態的な危険の格差に基づき適切に設定されていること。 |

memo 「保険料率の3つの原則」の背景には、以下の保険料と保険金の間に成り立つ原則が存在します。



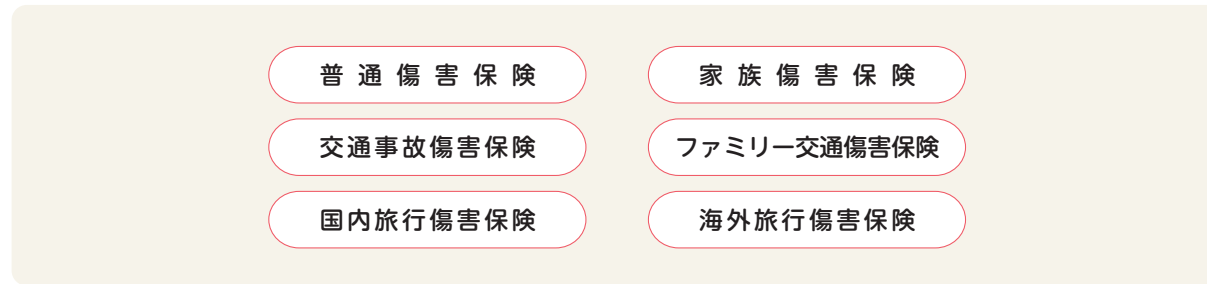
個々の契約について見ると



(3) 参考純率を算出している傷害保険の種類

← 傷害保険参考純率

当機構では、以下の傷害保険の参考純率を算出しています。



(4) 傷害保険の料率区分

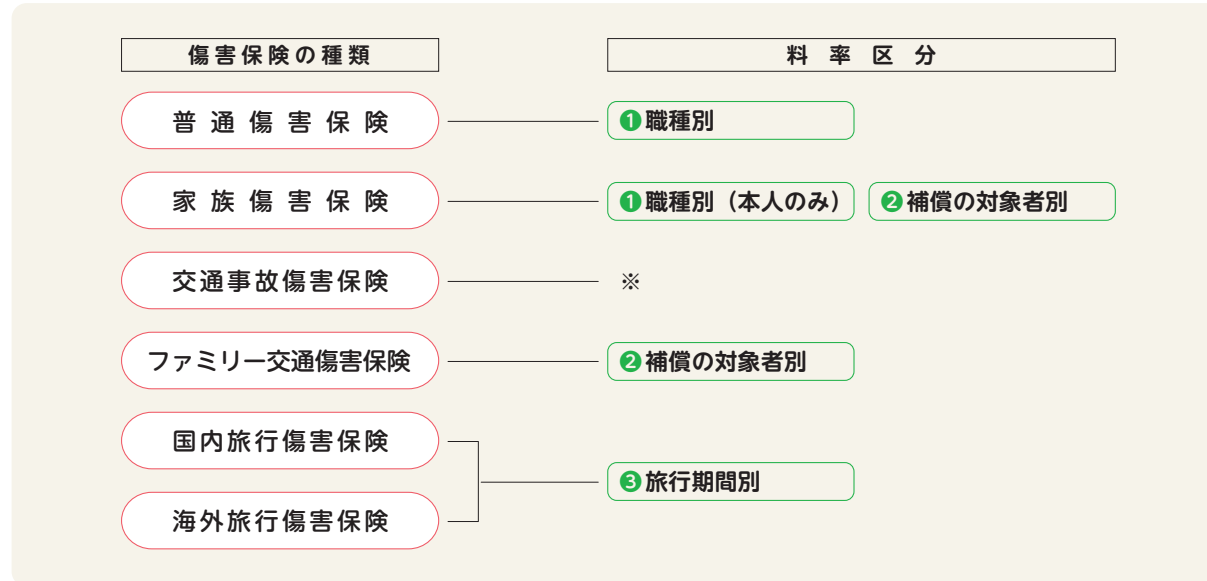
← 傷害保険参考純率

傷害保険においては、保険契約者が負担する保険料が、職種や補償の対象者や旅行期間など個々のリスクの差異に応じたものとなるように、料率区分を設けています。

以下では、参考純率における傷害保険の料率区分について説明していますが、保険会社に参考純率の使用義務はないため、実際の料率区分は保険会社によって異なります。

したがって、ご自身の契約に適用されている料率に関する詳細な情報は、保険証券をご確認のうえ、保険会社にお問い合わせください。

■ 傷害保険の種類ごとの料率区分の一覧

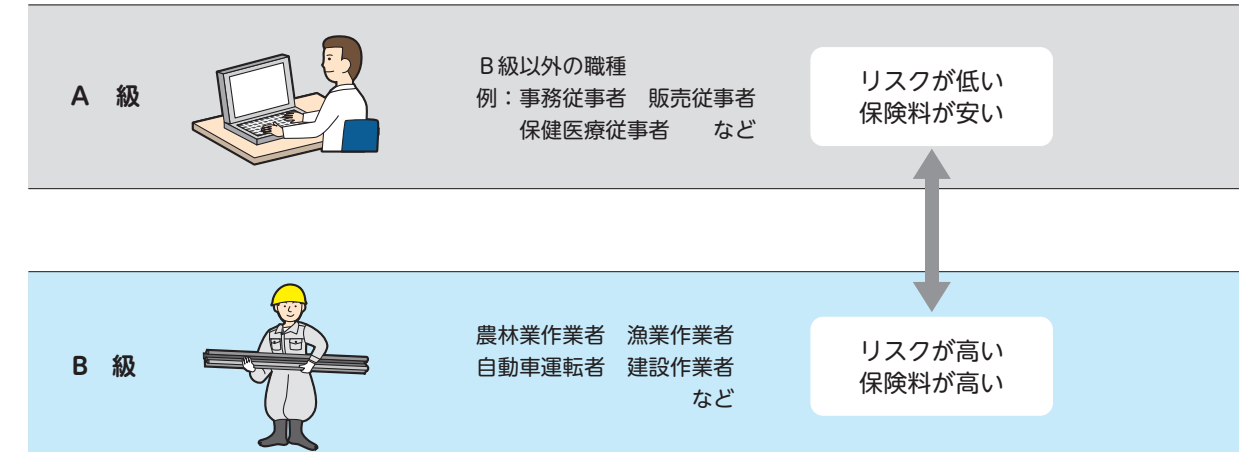


※交通事故傷害保険は、職種や補償の対象者による区分はなく一律です。

① 職種別

普通傷害保険および家族傷害保険は、日常生活全般において被った傷害を補償する保険ですが、補償の対象者がどのような職種についているかによって、傷害を被るリスクが異なります。このため、保険料率を職種により区分しています。

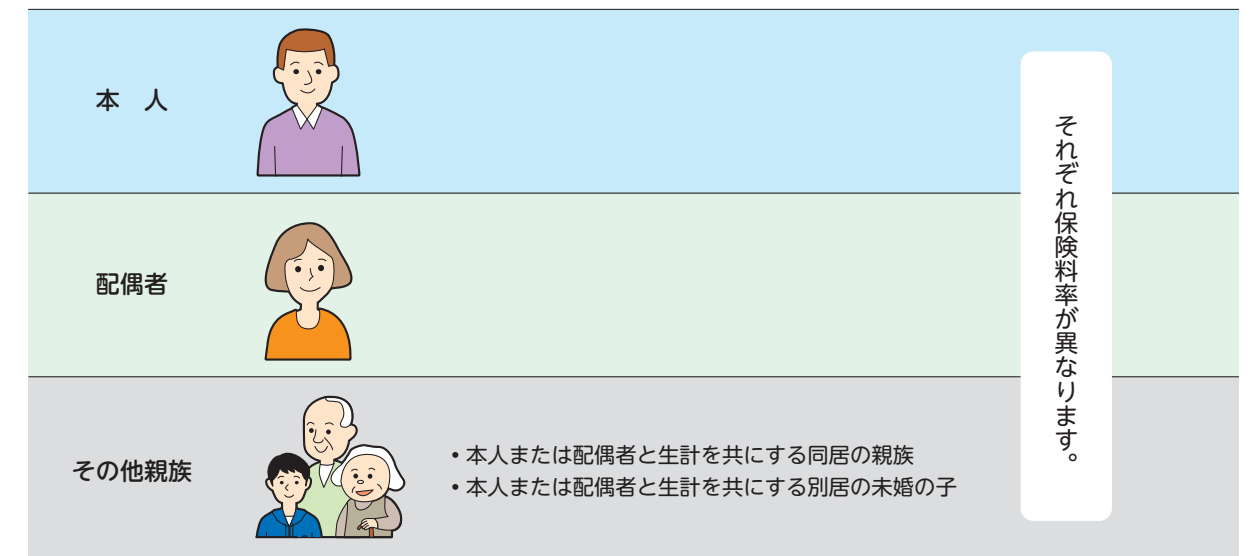
■ 傷害保険参考純率における職種別区分



② 補償の対象者別

家族傷害保険およびファミリー交通傷害保険の料率区分は、補償の対象者の区分（本人・配偶者・その他親族）ごとに設けられています。これら補償の対象者の組み合わせによって最終的な保険料が異なります。

■ 傷害保険参考純率における補償の対象者区分



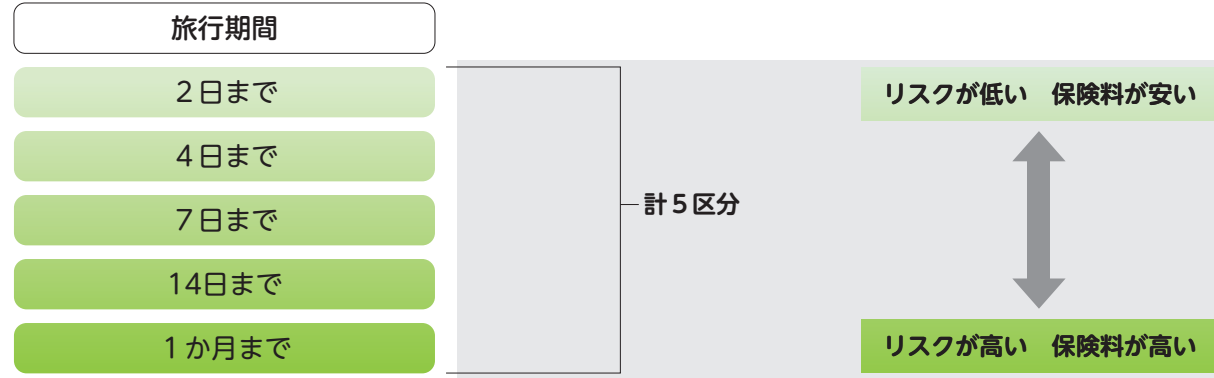
家族傷害保険およびファミリー交通傷害保険の契約パターン

- 本人と配偶者とその他親族
- 本人と配偶者
- 本人とその他親族

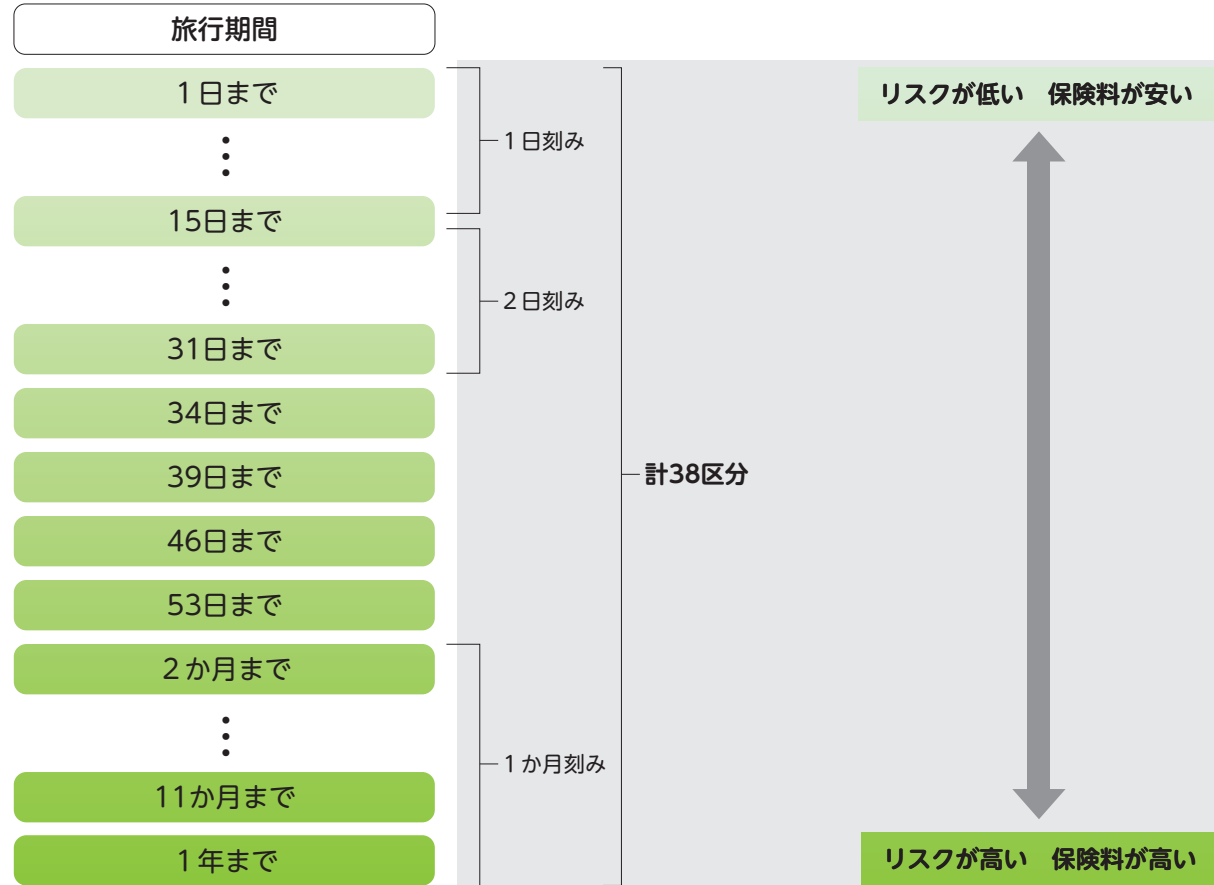
③ 旅行期間別

国内旅行傷害保険および海外旅行傷害保険は、旅行中に被った傷害などを補償する保険ですが、旅行期間に応じてそのリスクが異なります。このため保険料率を旅行期間により区分しています。

■ 国内旅行傷害保険における旅行期間別区分



■ 海外旅行傷害保険における旅行期間別区分



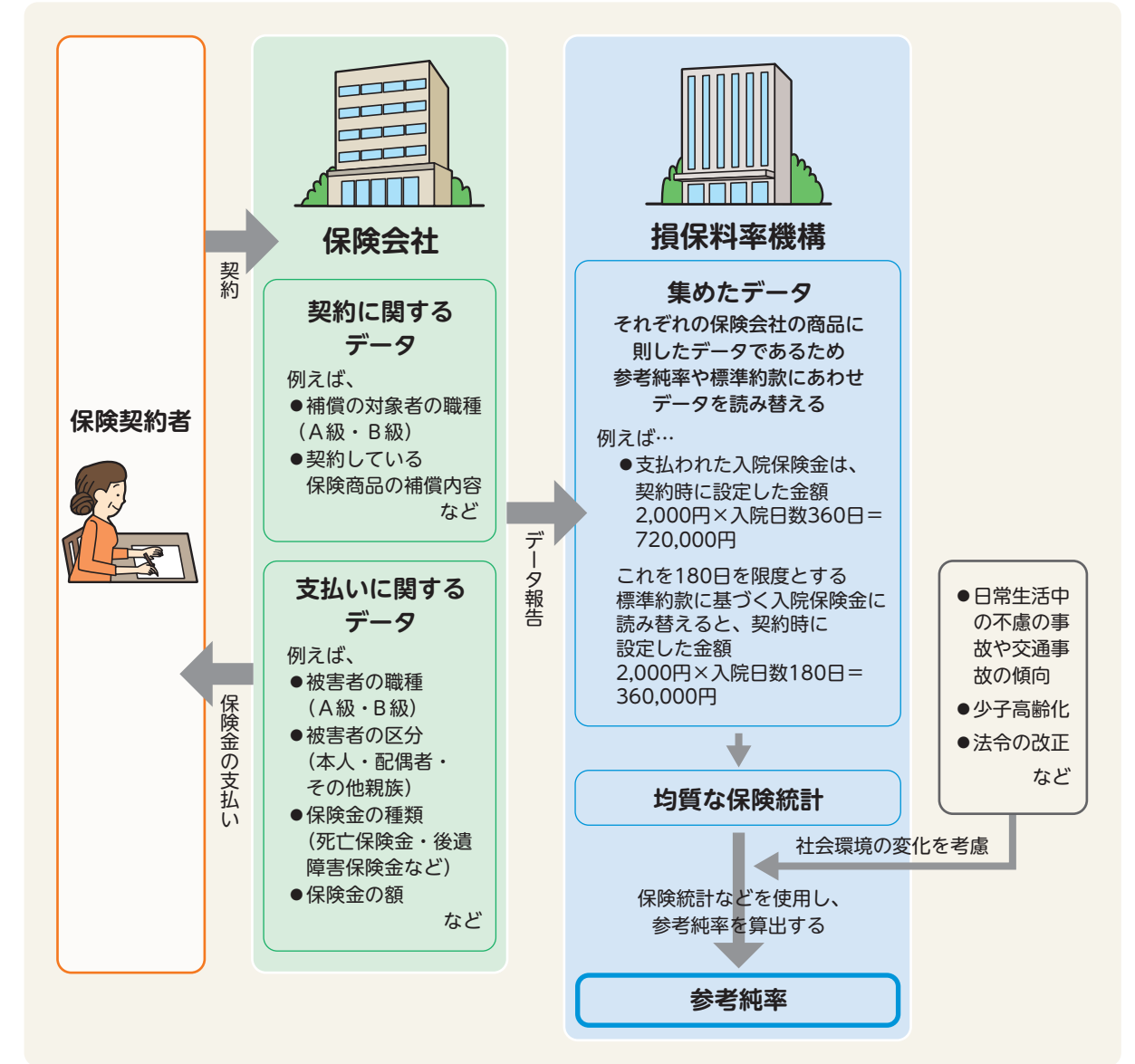
2 傷害保険の参考純率の算出

(1) 統計データの収集から参考純率算出への流れ

← 傷害保険参考純率

当機構では保険会社から報告された契約・支払いに関する大量のデータを基に均質な保険統計を作成し、これを分析するとともに、社会環境の変化を考慮したうえで、保険数理などの合理的な手法を用いて参考純率の算出を行います。

■ 統計データの収集から傷害保険参考純率の算出への流れ



memo

社会環境の変化の考慮

傷害保険で補償されるリスクを分析するにあたっては、保険統計以外の統計などを用いて、社会環境の変化についても考慮しています。

例えば、人口動態統計（厚生労働省発表）を用いて、不慮の事故による死亡リスクの傾向を確認したり、患者調査（厚生労働省発表）を用いて、病院や診療所を利用する患者の傷害の状況から入院・通院リスクの傾向分析を行ったりしています。

また、法令の改正（例：消費税率の引上げ）に伴って、傷害保険の契約・支払いにどのような影響が生じるかについても考慮しています。

(2) 傷害保険参考純率の算出方法

← 傷害保険参考純率

参考純率は、保険金の総額を保険金額の総額で除すことにより算出します。

参考純率は、料率算出団体が算出する純保険料率のことですが、純保険料率は、保険料率のうち、保険金の支払いにあてられる部分の保険料（＝純保険料）の保険金額に対する割合をいいます。

▶ 純保険料率の詳細は、第Ⅱ部 2-1(1)傷害保険の保険料率（P18）をご参照ください。

これを式で表すと、

$$\text{純保険料率} = \frac{\text{必要と見込まれる純保険料の総額}}{\text{保険金額の総額}} \text{ となります。}$$

なお、純保険料は収支相等の原則に従う必要があることから、必要と見込まれる純保険料の総額は保険金の総額と等しくなるよう算出する必要があります。

▶ 収支相等の原則の詳細は、第Ⅱ部 2-1(2)保険料率の3つの原則（P19）をご参照ください。

これを式で表すと、

$$\text{必要と見込まれる純保険料の総額} = \text{保険金の総額} \text{ となります。}$$

よって、

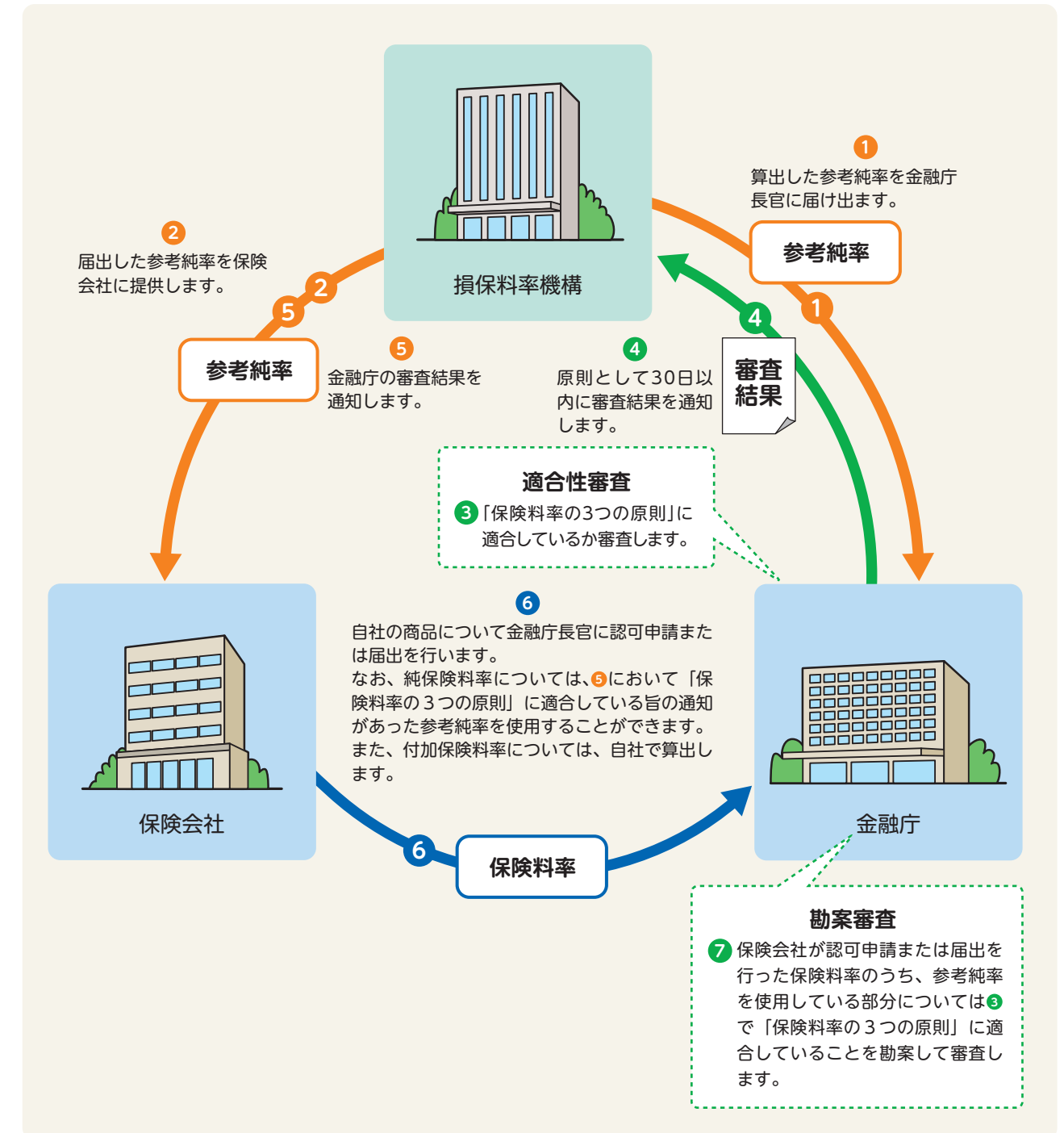
$$\text{純保険料率} = \frac{\text{保険金の総額}}{\text{保険金額の総額}} \text{ となるように算出します。}$$

3 傷害保険の参考純率の算出後の流れ

← 傷害保険参考純率

当機構は、算出した傷害保険の参考純率を金融庁長官に届出を行い、参考純率が「保険料率の3つの原則」に適合していることについて審査を受けます。

■ 傷害保険参考純率の算出後の流れ



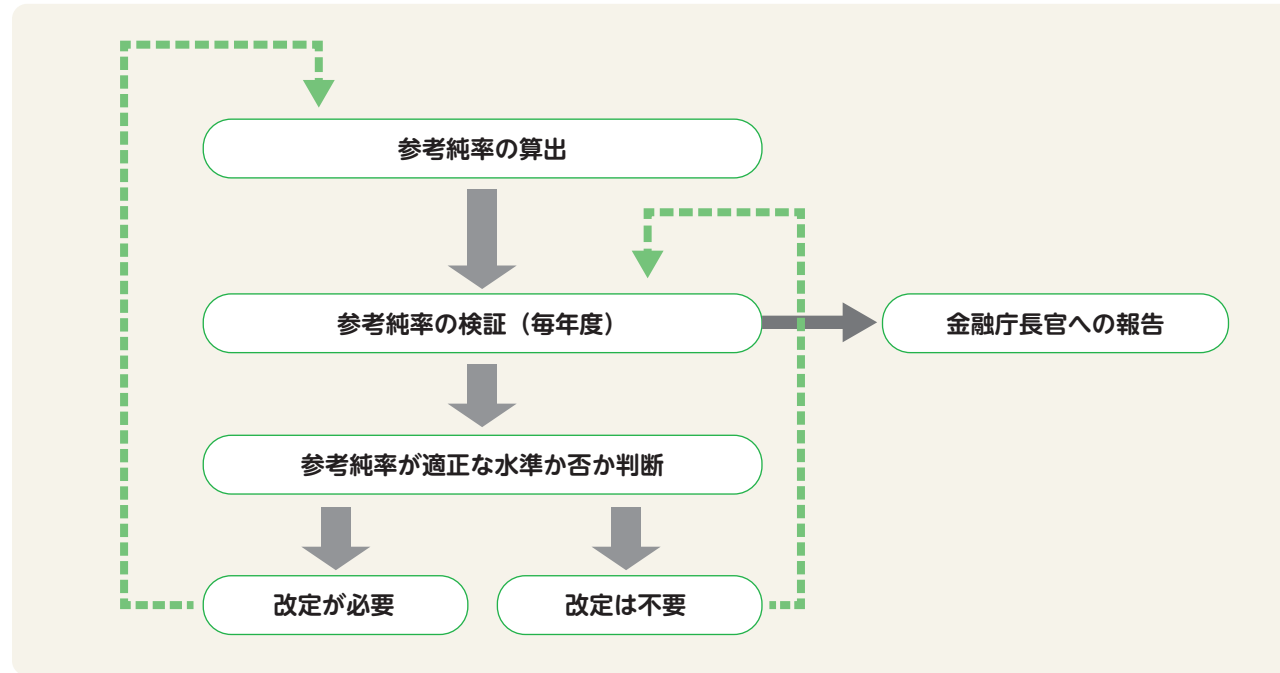
4 傷害保険の参考純率の検証と改定

参考純率が適正な水準か毎年度チェックを行います。

参考純率は、算出した時点では適正であっても社会環境の変化などによりリスクの実態が変化するため、いつまでも適正な水準であるとは限りません。このため、参考純率が適正な水準であるか否かについて、毎年度チェックをしており、必要があれば参考純率を改定しています。

← 傷害保険参考純率

■ 傷害保険参考純率の検証と改定の流れ



3 傷害保険の現況

保険料（収入）と保険金（支払い）の推移について説明します。

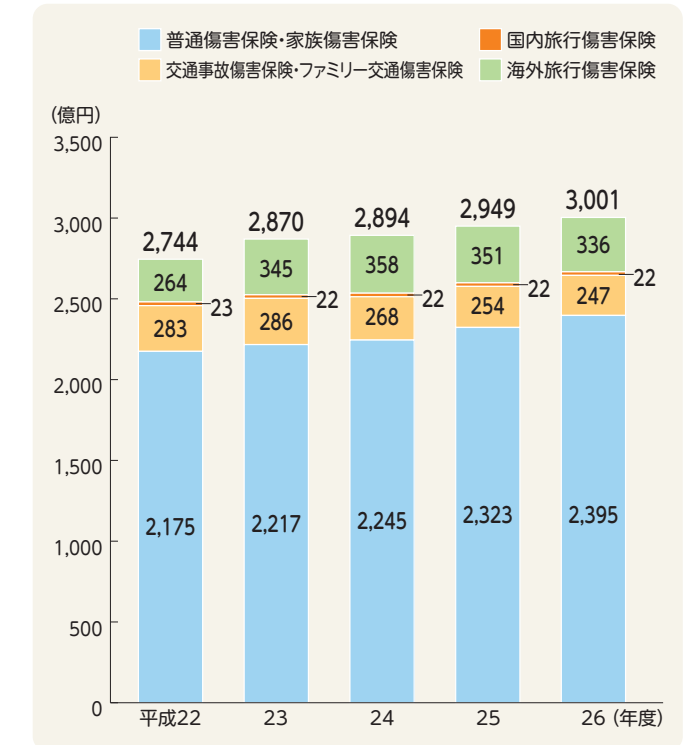
1 保険料（収入）の状況

傷害保険の保険料は、図1のとおり、全体で見ると増加傾向にあります。

これは、契約件数が増加傾向にあることや傷害保険参考純率の改定（平成21年5月届出、平成24年5月届出※）に伴う保険会社における料率水準の見直しなどの影響によるものと考えられます。

※いずれも参考純率の引上げ改定を行いました（ただし、平成24年5月の交通事故傷害保険・ファミリー交通傷害保険のみ引下げ改定）。

図1 保険料の推移



保険料

図1の保険料は、第Ⅱ部 2 傷害保険の保険料率（P18）に記載の「付加保険料率」部分を含みます。

集計方法について

リトン・ベースの数値です（以下、同様）。リトン・ベースとは、当該年度に計上された数値を集計する方法です。

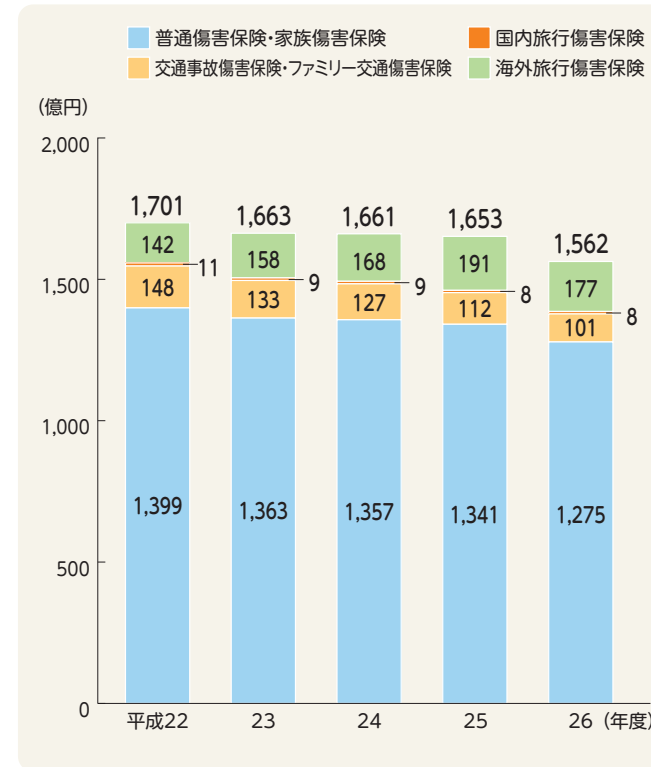
2 保険金（支払い）の状況

傷害保険の保険金は、図2のとおり、全体で見ると減少傾向にあります。

またその内訳を主な保険の種類ごとにみると、次のような特徴がみられます。

- 普通傷害保険・家族傷害保険の保険金も減少傾向で推移しています。これは、図3のとおり、補償の対象者1人あたりの保険金額が減少していることが主な要因と考えられます。
- 海外旅行傷害保険の保険金は、概ね増加傾向で推移しています。これは、被害者1人あたりの治療費用に関する保険金が増加していることが主な要因と考えられます。

図2 保険金の推移



(1) 普通傷害保険・家族傷害保険



補償の対象者1人あたりの保険金額の減少

図4は、保険金の推移を長期的にみてもありますが、平成21年度にかけて、保険会社が保険金の支払態勢の強化を進めたことにより、保険金が増加しています。

その後、保険金は減少傾向で推移していますが、平成22年度から平成25年度までは、補償の対象者1人あたりの保険金額（死亡・後遺障害）ほどは減少してはならず、高い水準が続いています（平成26年度は、補償範囲を縮小する特約の付帯率上昇等により、保険金の減少傾向に変化がみられず）。

このように、近年、保険金が高い水準で推移していること背景としては、以下の2つの要因が考えられます。

図3 補償の対象者1人あたりの保険金額（死亡・後遺障害）

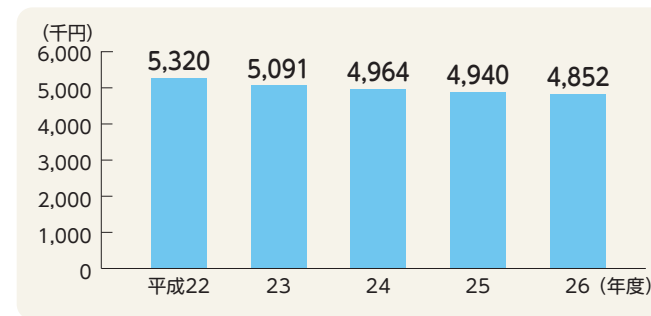
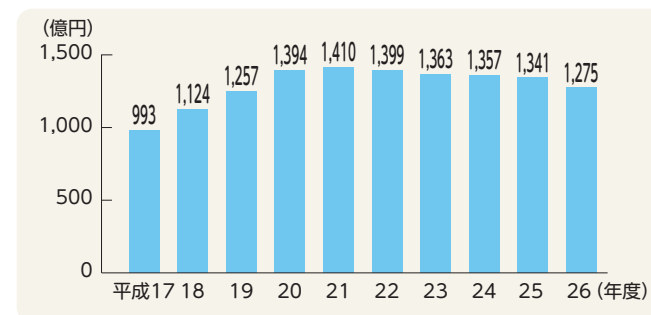


図4 保険金の推移（10か年）

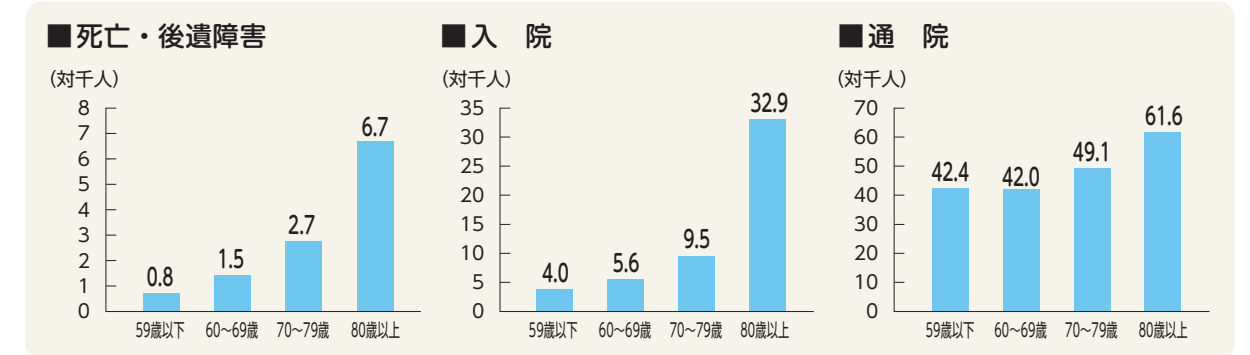


補償の対象者および被害者の高齢化

図5のとおり、加齢とともに傷害を被るリスク（ここでは「傷害リスク」といいます）が高まる傾向がみられます。また、わが国の高齢化の進展により、図6および図7のとおり、傷害保険の補償の対象者および被害者も高齢化が進んでいます。（P31 [トピックス①](#) 参照）

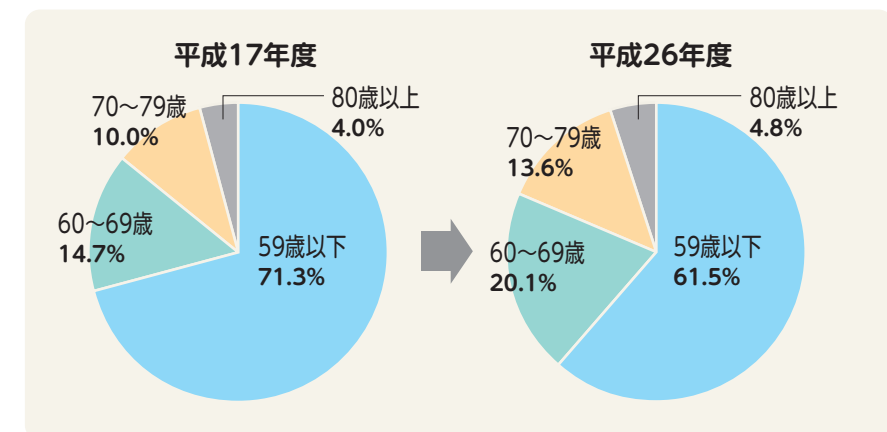
このように、傷害リスクの高い高齢者の構成割合が増加していることが、普通傷害保険・家族傷害保険の保険金が高い水準にある要因のひとつと考えられます。

図5 年代別の傷害リスクの違い（補償内容別）



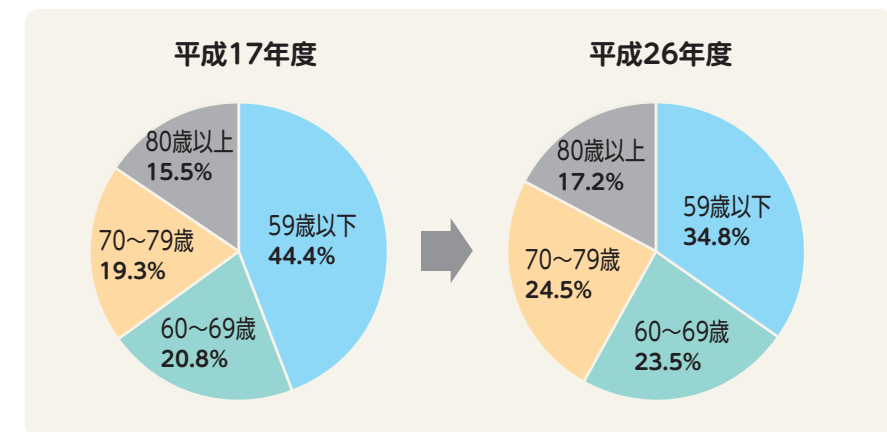
※補償の対象者1,000人に対する被害者数を比較したものです。（平成22~26年度の累計値、補償の対象者「本人」について集計）

図6 年代別 補償の対象者の構成割合（死亡・後遺障害）



※補償の対象者「本人」について集計した数値です。

図7 年代別 被害者の構成割合（死亡・後遺障害）



※被害者「本人」について集計した数値です。

平均通院日数の長期化

図8は、普通傷害保険・家族傷害保険における平均入院日数（被害者1人あたりの入院日数）および平均通院日数（被害者1人あたりの通院日数）の推移を示したものです。

入院および通院の保険金としては、契約時に設定した1日あたりの保険金日額に、実際に入院や通院をした日数を乗じた額が支払われます。したがって、その日数が長いほど、支払われる保険金は増加することになります（ただし、保険金の支払対象となる日数には限度が設けられています〔1 傷害保険とはP11、12参照〕）。

近年、平均入院日数は短期化しているものの、平均通院日数は長期化の傾向にあります。この背景には、医療技術の進歩や在宅医療を促す診療報酬改定などによる影響があるものと考えられます。

ただし、通院は入院よりも被害者数が多いことから（図9）、平均通院日数の長期化が平均入院日数の短期化よりも保険金の支払いに大きく影響しており、これが普通傷害保険・家族傷害保険の保険金が高い水準にある要因のひとつと考えられます。

なお、平成26年度に平均通院日数が減少していますが、これは通院保険金の支払対象日数を短縮する特約の付帯率が上昇したことによるものです。

図8 平均入院日数および平均通院日数の推移

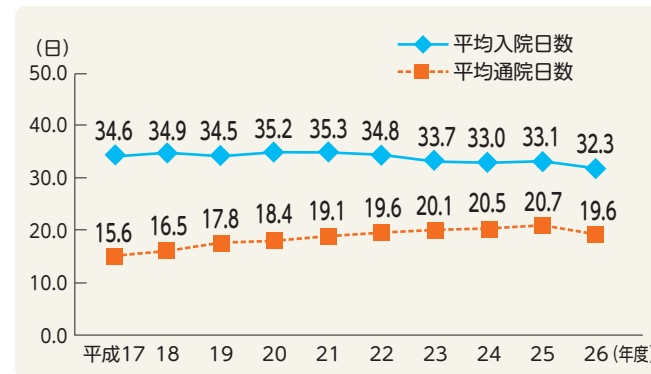
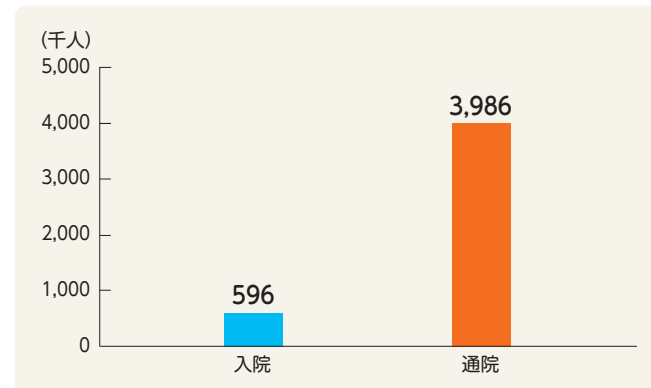


図9 入院および通院の被害者数



※平成22～26年度の累計値です。

(2) 海外旅行傷害保険

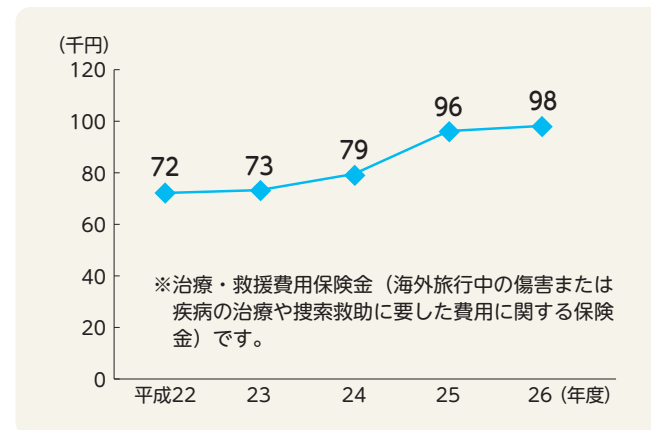
被害者1人あたりの治療費用に関する保険金の増加

海外旅行傷害保険においては、図10のとおり、被害者1人あたりの治療費用に関する保険金に増加傾向が見られます。

治療費用に関する保険金は、海外旅行中に、傷害や疾病のために治療を受け、その治療に要した費用を現地通貨で支払った場合に、その実費に対して支払われることから、旅行先の医療費水準の動向や為替の変動による影響を受けます。（第Ⅱ部 1 傷害保険とはP13参照）

近年、世界的に医療費が上昇基調にあること、また、為替水準が主要通貨に対して円安傾向にあることから、被害者1人あたりの保険金が増加しているものと考えられます（P32 トピックス② 参照）。

図10 被害者1人あたりの保険金の推移 (治療費用に関する保険金)



※治療・救済費用保険金（海外旅行中の傷害または疾病の治療や捜索救助に要した費用に関する保険金）です。

トピックス①

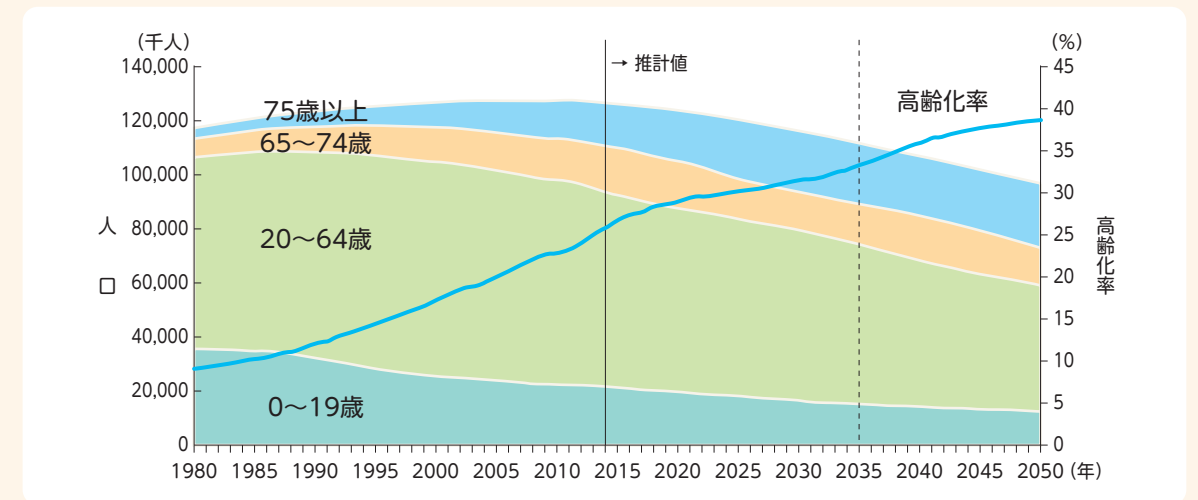
高齢化の進展

平均寿命の延伸に伴い、国民全体の高齢化が進んでいることから、傷害保険の補償の対象者においても高齢者の割合が増加しています。

わが国においては、平均寿命の延伸に伴って、高齢化が進んでおり、2014年（平成26年）の高齢化率（総人口に占める65歳以上人口の割合）は26.0%となっています。今後も、更にこの傾向が続くことによって、2035年には3人に1人が65歳以上になると予測されています（図11）。

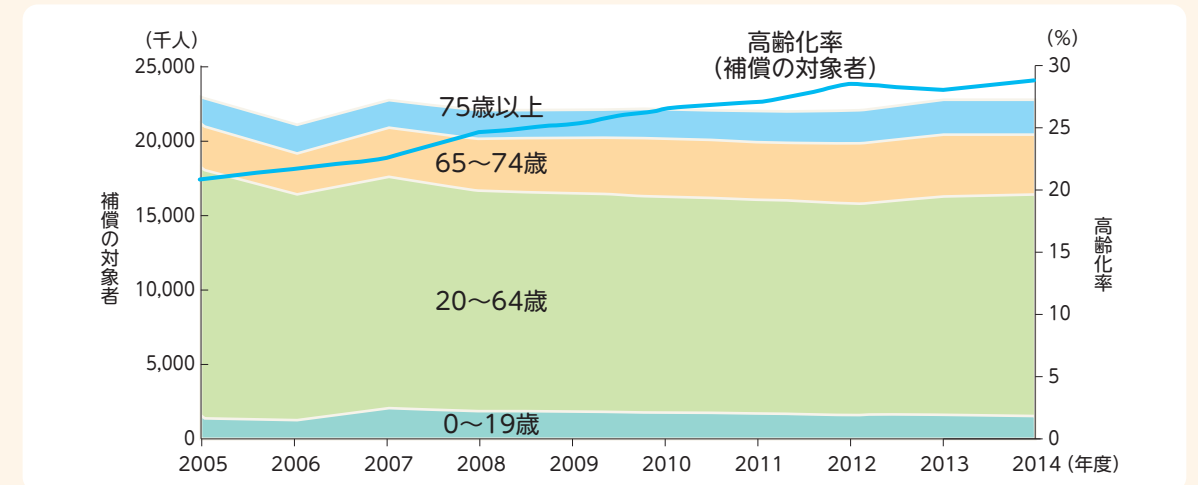
傷害保険においても、図12のとおり、補償の対象者の高齢化が進んでいます。

図11 わが国の人口の推移と将来推計人口



※2014年までは「国勢調査」および「人口推計」（総務省）、2015年以降は「日本の将来推計人口（平成24年1月推計）」（国立社会保障・人口問題研究所）（<http://www.ipss.go.jp/syoushika/tohkei/newest04/sh2401top.html>）をもとに当機構作成。

図12 補償の対象者の年齢分布（普通傷害保険・家族傷害保険／死亡・後遺障害）



※補償の対象者「本人」について集計した数値です。

トピックス 2

海外旅行傷害保険における医療費水準および為替の影響

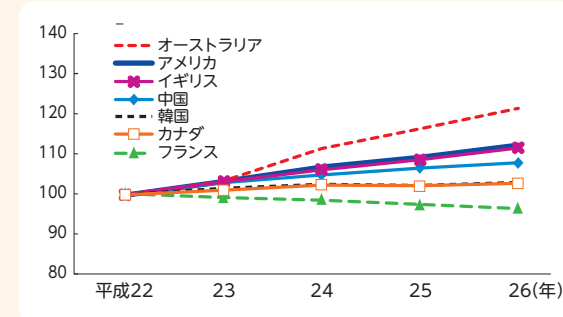
海外旅行傷害保険の治療費用や救済者費用に関する保険金の動向に影響を与える外的要因として、旅行先の医療費水準の動向や為替の変動があります。

海外旅行傷害保険の治療費用や救済者費用に関する保険金は、主に海外旅行中に現地で要した費用を現地通貨で支払った場合に、その実費に対して支払われる保険金です。このため、旅行先の医療費水準の動向や為替の変動による影響を受けます。

このうち、旅行先の医療費水準については、図13のとおり、近年上昇基調にあります。医療費の上昇は、保険金を増加させる要因となります。

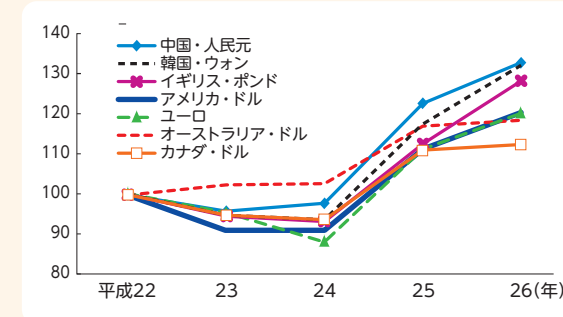
また、為替については、図14のとおり、平成24年度後半からは円安の傾向が進んでいますが、円安は保険金を増加させ、逆に、円高は保険金を減少させる要因となります。

図13 主な国における医療費水準の推移 (平成22年を100とした場合)



※各国機関による消費者物価指数(医療関係)¹⁾をもとに当機構作成。

図14 主な国・地域の為替レートの推移 (平成22年を100とした場合の対円レート)



※国内の主要銀行による参考値(各通貨の月中平均相場単純平均(月中平均の合計/12か月))をもとに当機構作成。

1) 参考としたデータの出典は以下のとおり。

オーストラリア： Australian Bureau of Statistics, 2014, Consumer Price Index, Australia, 'TABLES 3 and 4. CPI: Groups, Weighted Average of Eight Capital Cities, Index Numbers and Percentage Changes' [Index Numbers;Health], time series spreadsheet, cat.no.6401.0, viewed 4 November 2015, (<http://www.abs.gov.au/AUSSTATS/abs@.nsf/DetailsPage/6401.0Sep%202015?OpenDocument>)
 アメリカ： CPI Detailed Report(Table 6. Consumer Price Index for Urban Wage Earners and Clerical Workers (CPI-W)) [Medical care] by Bureau of Labor Statistics (<http://www.bls.gov/>)
 イギリス： Consumer Price Indices (licensed under the Open Government Licence v.3.0.) [CPIH INDEX 06 : HEALTH] by Office for National Statistics (<http://www.ons.gov.uk/ons/index.html>)
 中国： Consumer Price Indices by Category [Health Care and Personal Articles] by National Bureau of Statistics of the People's Republic of China (www.stats.gov.cn)
 韓国： CPI by Expenditure Category [06 Health] by Statistics Korea (<http://kostat.go.kr/portal/eng/index.action>)
 カナダ： Consumer Price Index, health and personal care, by province (Canada) [Health and personal care] by Statistics Canada (<http://www.statcan.gc.ca/start-debut-eng.html>)
 フランス： Consumer price index [06.- Health] by National Institute of Statistics and Economic Studies (<http://www.insee.fr/en/>)

第Ⅲ部

からだに関する
保険関連の統計

1 傷害保険統計 34
 2 関連情報 54

1 傷害保険統計

第1表 傷害保険 総括表

| 年 度 | 保 険 の 種 類 | 収 入 保 険 料 | 支 払 保 険 金 |
|------|-------------|-----------|-----------|
| 平成22 | | 百万円 | 百万円 |
| | 普通傷害保険 | 157,704 | 100,911 |
| | 家族傷害保険 | 59,815 | 38,998 |
| | 交通事故傷害保険 | 15,466 | 8,015 |
| | ファミリー交通傷害保険 | 12,795 | 6,832 |
| | 国内旅行傷害保険 | 2,253 | 1,117 |
| | 海外旅行傷害保険 | 26,415 | 14,243 |
| | 合計 | 274,448 | 170,116 |
| 23 | 普通傷害保険 | 161,711 | 99,147 |
| | 家族傷害保険 | 60,038 | 37,185 |
| | 交通事故傷害保険 | 15,983 | 7,200 |
| | ファミリー交通傷害保険 | 12,597 | 6,064 |
| | 国内旅行傷害保険 | 2,232 | 896 |
| | 海外旅行傷害保険 | 34,478 | 15,799 |
| | | 合計 | 287,039 |
| 24 | 普通傷害保険 | 166,934 | 100,547 |
| | 家族傷害保険 | 57,557 | 35,172 |
| | 交通事故傷害保険 | 15,754 | 7,237 |
| | ファミリー交通傷害保険 | 11,096 | 5,470 |
| | 国内旅行傷害保険 | 2,248 | 877 |
| | 海外旅行傷害保険 | 35,841 | 16,774 |
| | | 合計 | 289,429 |
| 25 | 普通傷害保険 | 175,243 | 100,573 |
| | 家族傷害保険 | 57,015 | 33,552 |
| | 交通事故傷害保険 | 15,071 | 6,527 |
| | ファミリー交通傷害保険 | 10,292 | 4,708 |
| | 国内旅行傷害保険 | 2,243 | 828 |
| | 海外旅行傷害保険 | 35,057 | 19,071 |
| | | 合計 | 294,921 |
| 26 | 普通傷害保険 | 183,117 | 96,213 |
| | 家族傷害保険 | 56,381 | 31,307 |
| | 交通事故傷害保険 | 14,785 | 5,899 |
| | ファミリー交通傷害保険 | 9,963 | 4,247 |
| | 国内旅行傷害保険 | 2,199 | 812 |
| | 海外旅行傷害保険 | 33,649 | 17,726 |
| | | 合計 | 300,094 |

第Ⅲ部 | からだに関する保険関連の統計

第2表 普通傷害保険 統計表〈平成26年度〉

(新契約)

| 職種別区分 | 件数 | 死亡・後遺障害 | | | |
|---------------|-----------|------------|-------------|------------|------------|
| | | 補償の対象者数 | 保険金額 | 保険料 | 補償の対象者数 |
| | 件 | 人 | 百万円 | 千円 | 人 |
| 1 A級 | 1,010,619 | 12,060,254 | 59,294,312 | 34,638,247 | 8,191,138 |
| 2 B級 | 195,387 | 1,355,158 | 11,808,705 | 9,286,912 | 1,079,204 |
| 3 加重平均適用料率等 | 1,658,400 | 7,548,232 | 38,212,893 | 36,275,323 | 6,530,970 |
| 4 小計 | 2,864,406 | 20,963,644 | 109,315,911 | 80,200,483 | 15,801,312 |
| 5 就業中の危険補償対象外 | 21,437 | 645,218 | 3,868,213 | 1,557,299 | 459,892 |
| 6 合計 | 2,885,843 | 21,608,862 | 113,184,125 | 81,757,782 | 16,261,204 |

(支払)

| 職種別区分 | 死亡 | | 後遺障害 | |
|---------------|-------|------------|--------|------------|
| | 被害者数 | 保険金 | 被害者数 | 保険金 |
| | 人 | 千円 | 人 | 千円 |
| 1 A級 | 1,553 | 6,057,026 | 8,548 | 12,251,734 |
| 2 B級 | 237 | 2,468,160 | 1,789 | 4,391,562 |
| 3 加重平均適用料率等 | 1,435 | 5,981,287 | 9,629 | 13,257,818 |
| 4 小計 | 3,225 | 14,506,474 | 19,966 | 29,901,115 |
| 5 就業中の危険補償対象外 | 8 | 55,706 | 353 | 471,805 |
| 6 合計 | 3,233 | 14,562,180 | 20,319 | 30,372,920 |

| 入院 | | 通院 | | | 合計保険料 |
|------------|------------|------------|------------|------------|-------------|
| 日額 | 保険料 | 補償の対象者数 | 日額 | 保険料 | |
| 千円 | 千円 | 人 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 33,899,912 | 15,140,869 | 7,687,209 | 17,738,735 | 29,503,262 | 79,282,379 |
| 6,156,671 | 3,597,750 | 987,710 | 3,284,846 | 6,833,786 | 19,718,448 |
| 35,427,392 | 23,385,385 | 4,252,221 | 10,219,260 | 21,236,879 | 80,897,588 |
| 75,483,976 | 42,124,005 | 12,927,140 | 31,242,841 | 57,573,928 | 179,898,417 |
| 2,421,314 | 758,675 | 450,349 | 738,809 | 902,726 | 3,218,701 |
| 77,905,291 | 42,882,680 | 13,377,489 | 31,981,651 | 58,476,655 | 183,117,118 |

| 入院 | | 通院 | | 合計 | |
|--------|------------|---------|------------|---------|------------|
| 被害者数 | 保険金 | 被害者数 | 保険金 | 被害者数 | 保険金 |
| 人 | 千円 | 人 | 千円 | 人 | 千円 |
| 40,762 | 6,810,249 | 258,735 | 16,022,528 | 309,598 | 41,141,538 |
| 6,746 | 1,962,700 | 33,688 | 3,244,643 | 42,460 | 12,067,066 |
| 42,560 | 9,922,305 | 199,601 | 12,463,502 | 253,225 | 41,624,913 |
| 90,068 | 18,695,254 | 492,024 | 31,730,674 | 605,283 | 94,833,518 |
| 1,205 | 243,387 | 10,472 | 608,974 | 12,038 | 1,379,873 |
| 91,273 | 18,938,642 | 502,496 | 32,339,649 | 617,321 | 96,213,392 |

※1 「加重平均適用料率等」には、職種別区分を持たない商品等を含みます。
 ※2 「就業中の危険補償対象外」には、補償の対象者が職業や職務に従事している間に被った傷害について補償対象外とする特約を付帯した契約に関するデータを集計しています。

第Ⅲ部 | からだに関する保険関連の統計

第3表 家族傷害保険 統計表 (平成26年度)

(新契約)

| 補償の対象者/本人の職種別区分 | | 件数 | 死亡・後遺障害 | | | |
|-----------------|-------------|-----------|---------------|------------|------------|---------------|
| | | | 補償の対象者数 | 保険金額 | 保険料 | 補償の対象者数 |
| | | 件 | 人 | 百万円 | 千円 | 人 |
| 1 | 本人 A級 | 81,989 | 860,886 | 3,711,163 | 3,003,082 | 743,427 |
| 2 | B級 | 9,333 | 21,423 | 90,847 | 136,039 | 20,865 |
| 3 | 加重平均適用料率等 | 173,753 | 1,376,930 | 5,997,113 | 5,453,454 | 1,081,311 |
| 4 | 就業中の危険補償対象外 | 1,739 | 40,348 | 75,391 | 61,040 | 13,187 |
| 5 | 小計 | 266,814 | 2,299,587 | 9,874,515 | 8,653,616 | 1,858,790 |
| 6 | 配偶者 | (235,676) | 2,229,783 | 7,173,504 | 4,871,077 | 1,791,429 |
| 7 | その他親族 | (147,803) | [1,505,849] | 3,899,278 | 4,935,523 | [1,264,549] |
| 8 | 合計 | 266,814 | [2,299,587] | 20,947,298 | 18,460,217 | [1,858,790] |

(支払)

| 補償の対象者/本人の職種別区分 | | 死亡 | | 後遺障害 | |
|-----------------|-------------|------|-----------|-------|-----------|
| | | 被害者数 | 保険金 | 被害者数 | 保険金 |
| | | 人 | 千円 | 人 | 千円 |
| 1 | 本人 A級 | 190 | 722,983 | 1,350 | 1,647,692 |
| 2 | B級 | 20 | 68,287 | 83 | 82,430 |
| 3 | 加重平均適用料率等 | 209 | 845,064 | 1,515 | 1,833,467 |
| 4 | 就業中の危険補償対象外 | 3 | 8,111 | 35 | 33,226 |
| 5 | 小計 | 422 | 1,644,446 | 2,983 | 3,596,816 |
| 6 | 配偶者 | 230 | 745,618 | 2,275 | 2,222,605 |
| 7 | その他親族 | 307 | 801,738 | 2,598 | 1,939,590 |
| 8 | 合計 | 959 | 3,191,803 | 7,856 | 7,759,012 |

| 入院 | | 通院 | | | 合計保険料 | |
|------------|------------|---------------|-----------|------------|------------|---|
| 日額 | 保険料 | 補償の対象者数 | 日額 | 保険料 | | |
| 千円 | 千円 | 人 | 千円 | 千円 | 千円 | |
| 3,074,074 | 1,816,915 | 733,834 | 1,689,473 | 3,751,981 | 8,571,980 | 1 |
| 78,124 | 77,639 | 19,855 | 43,147 | 162,208 | 375,887 | 2 |
| 6,027,706 | 3,710,641 | 933,290 | 2,070,987 | 4,409,602 | 13,573,698 | 3 |
| 56,449 | 23,322 | 13,136 | 34,936 | 52,035 | 136,398 | 4 |
| 9,236,354 | 5,628,519 | 1,700,115 | 3,838,545 | 8,375,828 | 22,657,964 | 5 |
| 8,352,793 | 3,943,204 | 1,650,810 | 3,373,316 | 7,252,051 | 16,066,332 | 6 |
| 4,642,021 | 5,238,311 | [1,190,268] | 1,942,624 | 7,482,891 | 17,656,726 | 7 |
| 22,231,169 | 14,810,035 | [1,700,115] | 9,154,485 | 23,110,770 | 56,381,023 | 8 |

| 入院 | | 通院 | | 合計 | | |
|--------|-----------|---------|------------|---------|------------|---|
| 被害者数 | 保険金 | 被害者数 | 保険金 | 被害者数 | 保険金 | |
| 人 | 千円 | 人 | 千円 | 人 | 千円 | |
| 5,346 | 1,054,644 | 42,957 | 2,845,904 | 49,843 | 6,271,224 | 1 |
| 273 | 46,209 | 1,914 | 170,657 | 2,290 | 367,585 | 2 |
| 6,806 | 1,535,946 | 57,998 | 2,971,802 | 66,528 | 7,186,280 | 3 |
| 73 | 18,803 | 629 | 46,057 | 740 | 106,198 | 4 |
| 12,498 | 2,655,603 | 103,498 | 6,034,422 | 119,401 | 13,931,289 | 5 |
| 8,801 | 1,894,588 | 66,427 | 3,812,416 | 77,733 | 8,675,228 | 6 |
| 12,727 | 2,472,785 | 118,583 | 3,486,109 | 134,215 | 8,700,222 | 7 |
| 34,026 | 7,022,977 | 288,508 | 13,332,947 | 331,349 | 31,306,741 | 8 |

※1 「加重平均適用料率等」には、職種別区分を持たない商品等を含みます。
 ※2 「就業中の危険補償対象外」には、補償の対象者が職業や職務に従事している間に被った傷害について補償対象外とする特約を付帯した契約に関するデータを集計しています。
 ※3 () 内の数値は合計に含みません。
 ※4 [] 内の数値は家族数を表します。

第4表 普通傷害保険 被害者数と支払認定日数の推移【入院および通院】

| 年 度 | 入 院 | | 通 院 | |
|------|---------|-------------|---------|-------------|
| | 被 害 者 数 | 支 払 認 定 日 数 | 被 害 者 数 | 支 払 認 定 日 数 |
| | 人 | 日 | 人 | 日 |
| 平成22 | 79,186 | 2,801,986 | 481,597 | 9,864,674 |
| 23 | 81,656 | 2,771,996 | 484,760 | 10,145,126 |
| 24 | 86,405 | 2,859,089 | 508,043 | 10,760,900 |
| 25 | 88,239 | 2,931,737 | 505,059 | 10,792,233 |
| 26 | 91,273 | 2,951,814 | 502,496 | 10,308,833 |

第5表 家族傷害保険 被害者数と支払認定日数の推移【入院および通院】

| 年 度 | 入 院 | | 通 院 | |
|------|---------|-------------|---------|-------------|
| | 被 害 者 数 | 支 払 認 定 日 数 | 被 害 者 数 | 支 払 認 定 日 数 |
| | 人 | 日 | 人 | 日 |
| 平成22 | 34,208 | 1,139,861 | 311,569 | 5,688,852 |
| 23 | 33,582 | 1,109,386 | 306,822 | 5,782,878 |
| 24 | 33,903 | 1,115,726 | 303,370 | 5,845,139 |
| 25 | 33,706 | 1,103,329 | 294,261 | 5,725,743 |
| 26 | 34,026 | 1,092,478 | 288,508 | 5,231,309 |

第Ⅲ部 | からだに関する保険関連の統計

第6表 交通事故傷害保険 統計表 (平成26年度)

(新契約)

| 件数 | 死亡・後遺障害 | | | 入院 | |
|-----------|-----------|------------|-----------|-----------|------------|
| | 補償の対象者数 | 保険金額 | 保険料 | 補償の対象者数 | 日額 |
| 件 | 人 | 百万円 | 千円 | 人 | 千円 |
| 1,298,222 | 7,285,222 | 21,664,590 | 7,989,994 | 2,370,378 | 13,322,798 |

| | | 通院 | | | 合計保険料 |
|-----------|-----------|-----------|-----------|------------|-------|
| 保険料 | 補償の対象者数 | 日額 | 保険料 | 合計保険料 | |
| 千円 | 人 | 千円 | 千円 | 千円 | |
| 2,660,153 | 1,679,879 | 4,981,999 | 4,134,723 | 14,784,870 | |

(支払)

| 死亡 | | 後遺障害 | | 入院 | |
|------|---------|-------|-----------|-------|---------|
| 被害者数 | 保険金 | 被害者数 | 保険金 | 被害者数 | 保険金 |
| 人 | 千円 | 人 | 千円 | 人 | 千円 |
| 281 | 839,130 | 1,511 | 1,670,407 | 3,862 | 991,760 |

| 通院 | | 合計 | |
|--------|-----------|--------|-----------|
| 被害者数 | 保険金 | 被害者数 | 保険金 |
| 人 | 千円 | 人 | 千円 |
| 21,471 | 2,397,675 | 27,125 | 5,898,973 |

第Ⅲ部 | からだに関する保険関連の統計

第7表 ファミリー交通傷害保険 統計表 (平成26年度)

(新契約)

| | 補償の対象者 | 件数 | 死亡・後遺障害 | | | 補償の対象者数 |
|---|--------|-----------|-------------|------------|-----------|-------------|
| | | | 補償の対象者数 | 保険金額 | 保険料 | |
| | | 件 | 人 | 百万円 | 千円 | 人 |
| 1 | 本人 | 202,316 | 707,212 | 6,207,994 | 3,160,443 | 668,681 |
| 2 | 配偶者 | (191,436) | 690,755 | 4,757,494 | 1,562,293 | 652,269 |
| 3 | その他親族 | (170,768) | [565,639] | 2,180,620 | 939,818 | [544,160] |
| 4 | 合計 | 202,316 | [707,212] | 13,146,109 | 5,662,555 | [668,681] |

(支払)

| | 補償の対象者 | 死亡 | | 後遺障害 | | 入 |
|---|--------|------|---------|-------|-----------|-------|
| | | 被害者数 | 保険金 | 被害者数 | 保険金 | 被害者数 |
| | | 人 | 千円 | 人 | 千円 | 人 |
| 1 | 本人 | 36 | 420,423 | 517 | 968,112 | 1,239 |
| 2 | 配偶者 | 14 | 122,730 | 298 | 471,361 | 642 |
| 3 | その他親族 | 29 | 105,260 | 204 | 169,579 | 789 |
| 4 | 合計 | 79 | 648,414 | 1,019 | 1,609,053 | 2,670 |

※1 () 内の数値は合計に含みません。
 ※2 [] 内の数値は家族数を表します。

| 入院 | | 通院 | | | 合計保険料 | |
|------------|-----------|-------------|-----------|-----------|-----------|---|
| 日額 | 保険料 | 補償の対象者数 | 日額 | 保険料 | | |
| 千円 | 千円 | 人 | 千円 | 千円 | 千円 | |
| 4,361,056 | 957,399 | 502,828 | 1,344,493 | 1,319,039 | 5,436,883 | 1 |
| 3,909,331 | 460,244 | 491,237 | 1,033,918 | 721,925 | 2,744,464 | 2 |
| 2,502,131 | 417,961 | [427,870] | 677,083 | 424,074 | 1,781,855 | 3 |
| 10,772,519 | 1,835,606 | [502,828] | 3,055,495 | 2,465,040 | 9,963,202 | 4 |

| 入院 | 通院 | | 合計 | | |
|---------|--------|-----------|--------|-----------|---|
| 保険金 | 被害者数 | 保険金 | 被害者数 | 保険金 | |
| 千円 | 人 | 千円 | 人 | 千円 | |
| 316,405 | 7,886 | 764,986 | 9,678 | 2,469,928 | 1 |
| 155,894 | 4,250 | 349,364 | 5,204 | 1,099,351 | 2 |
| 147,753 | 5,716 | 254,787 | 6,738 | 677,381 | 3 |
| 620,054 | 17,852 | 1,369,138 | 21,620 | 4,246,661 | 4 |

第8表 交通事故傷害保険 被害者数と支払認定日数の推移【入院および通院】

| 年 度 | 入 院 | | 通 院 | |
|------|---------|-------------|---------|-------------|
| | 被 害 者 数 | 支 払 認 定 日 数 | 被 害 者 数 | 支 払 認 定 日 数 |
| | 人 | 日 | 人 | 日 |
| 平成22 | 3,829 | 131,298 | 23,104 | 676,059 |
| 23 | 3,769 | 125,764 | 22,150 | 664,735 |
| 24 | 3,704 | 114,648 | 22,253 | 692,303 |
| 25 | 3,814 | 116,067 | 22,047 | 681,587 |
| 26 | 3,862 | 120,523 | 21,471 | 639,157 |

第9表 ファミリー交通傷害保険 被害者数と支払認定日数の推移【入院および通院】

| 年 度 | 入 院 | | 通 院 | |
|------|---------|-------------|---------|-------------|
| | 被 害 者 数 | 支 払 認 定 日 数 | 被 害 者 数 | 支 払 認 定 日 数 |
| | 人 | 日 | 人 | 日 |
| 平成22 | 3,289 | 104,200 | 20,913 | 610,004 |
| 23 | 3,148 | 98,441 | 20,340 | 599,180 |
| 24 | 2,853 | 88,191 | 19,612 | 586,077 |
| 25 | 2,672 | 80,289 | 18,624 | 550,826 |
| 26 | 2,670 | 78,217 | 17,852 | 513,507 |

第Ⅲ部 | からだに関する保険関連の統計

第10表 国内旅行傷害保険 統計表 (平成26年度)

(新契約)

| 件数 | 死亡・後遺障害 | | | 入院 | |
|---------|-----------|------------|---------|-----------|------------|
| | 補償の対象者数 | 保険金額 | 保険料 | 補償の対象者数 | 日額 |
| 件 | 人 | 百万円 | 千円 | 人 | 千円 |
| 814,731 | 7,688,671 | 48,517,513 | 808,674 | 7,571,577 | 29,847,640 |

| 通院 | | | | 合計保険料 |
|---------|-----------|------------|-----------|-----------|
| 保険料 | 補償の対象者数 | 日額 | 保険料 | |
| 千円 | 人 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 364,582 | 7,540,267 | 16,723,393 | 1,025,841 | 2,199,099 |

(支払)

| 死亡 | | 後遺障害 | | 入院 | |
|------|--------|------|---------|------|---------|
| 被害者数 | 保険金 | 被害者数 | 保険金 | 被害者数 | 保険金 |
| 人 | 千円 | 人 | 千円 | 人 | 千円 |
| 11 | 71,897 | 106 | 227,551 | 739 | 119,141 |

| 通院 | | 合計 | |
|-------|---------|-------|---------|
| 被害者数 | 保険金 | 被害者数 | 保険金 |
| 人 | 千円 | 人 | 千円 |
| 7,226 | 392,931 | 8,082 | 811,522 |

第11表 国内旅行傷害保険 被害者数と支払認定日数の推移【入院および通院】

| 年 度 | 入 院 | | 通 院 | |
|------|---------|-------------|---------|-------------|
| | 被 害 者 数 | 支 払 認 定 日 数 | 被 害 者 数 | 支 払 認 定 日 数 |
| | 人 | 日 | 人 | 日 |
| 平成22 | 790 | 18,585 | 8,204 | 128,773 |
| 23 | 640 | 13,581 | 7,627 | 122,235 |
| 24 | 749 | 15,683 | 8,059 | 130,001 |
| 25 | 756 | 15,272 | 7,671 | 125,623 |
| 26 | 739 | 15,681 | 7,226 | 117,363 |

第12表 海外旅行傷害保険 統計表〈平成26年度〉

(新契約)

| | 補償内容 | 件数 | 補償の対象者数 |
|---|-----------|-------------|-------------|
| | | 件 | 人 |
| 1 | 傷害・死亡後遺障害 | 72 | 681 |
| 2 | 傷害・死亡 | 4,262,869 | 5,045,563 |
| 3 | 傷害・後遺障害 | (4,436,639) | (5,230,649) |
| 4 | 疾病・死亡 | (3,588,858) | (4,815,088) |
| 5 | 治療・救援費用 | (3,705,875) | (4,860,372) |
| 6 | 傷害・治療費用 | (191,732) | (332,486) |
| 7 | 疾病・治療費用 | (168,041) | (292,001) |
| 8 | 救援者費用 | (299,229) | (508,437) |
| 9 | 合計 | 4,262,941 | 5,046,244 |

| | 保険金額 | 保険料 | |
|--|---------------|------------|---|
| | 百万円 | 千円 | |
| | 1,675 | 13,004 | 1 |
| | 111,243,544 | 3,859,735 | 2 |
| | (120,384,122) | 1,905,581 | 3 |
| | (51,874,254) | 2,749,382 | 4 |
| | (532,703,750) | 22,969,597 | 5 |
| | (2,040,265) | 493,878 | 6 |
| | (1,736,420) | 1,430,674 | 7 |
| | (3,941,339) | 226,679 | 8 |
| | 111,245,219 | 33,648,534 | 9 |

(支払)

| | 補償内容 | 死亡 | | 後遺障害 | |
|---|-----------|------|-----------|------|-----------|
| | | 被害者数 | 保険金 | 被害者数 | 保険金 |
| | | 人 | 千円 | 人 | 千円 |
| 1 | 傷害・死亡後遺障害 | 2 | 23,591 | 6 | 51,110 |
| 2 | 傷害・死亡 | 26 | 614,304 | — | — |
| 3 | 傷害・後遺障害 | — | — | 260 | 1,127,829 |
| 4 | 疾病・死亡 | 59 | 668,487 | — | — |
| 5 | 治療・救援費用 | — | — | — | — |
| 6 | 傷害・治療費用 | — | — | — | — |
| 7 | 疾病・治療費用 | — | — | — | — |
| 8 | 救援者費用 | — | — | — | — |
| 9 | 合計 | 87 | 1,306,383 | 266 | 1,178,940 |

| | 治療費用等 | | 合計 | |
|--|---------|------------|---------|------------|
| | 被害者数 | 保険金 | 被害者数 | 保険金 |
| | 人 | 千円 | 人 | 千円 |
| | — | — | 8 | 74,702 |
| | — | — | 26 | 614,304 |
| | — | — | 260 | 1,127,829 |
| | — | — | 59 | 668,487 |
| | 135,045 | 13,252,287 | 135,045 | 13,252,287 |
| | 3,051 | 295,297 | 3,051 | 295,297 |
| | 25,025 | 1,618,869 | 25,025 | 1,618,869 |
| | 90 | 73,921 | 90 | 73,921 |
| | 163,211 | 15,240,377 | 163,564 | 17,725,701 |

※ () 内の数値は合計に含みません。

2 関連情報

第13表 わが国の主要死因別死亡数

| 死因 | 死亡数(人) | | | | |
|-------------|--------------------|--------------------|--------------------|---------------------|---------------------|
| | 上段：実数、下段：人口10万人あたり | | | | |
| | 平成22年 | 平成23年 | 平成24年 | 平成25年 | 平成26年 |
| 結核 | 2,129 1.7 | 2,166 1.7 | 2,110 1.7 | 2,087 1.7 | 2,100 1.7 |
| 悪性新生物(ガン) | 353,499 279.7 | 357,305 283.2 | 360,963 286.6 | 364,872 290.3 | 368,103 293.5 |
| 糖尿病 | 14,422 11.4 | 14,664 11.6 | 14,486 11.5 | 13,812 11.0 | 13,669 10.9 |
| 高血圧性疾患 | 6,760 5.3 | 7,023 5.6 | 7,261 5.8 | 7,165 5.7 | 6,932 5.5 |
| 心疾患 | 189,360 149.8 | 194,926 154.5 | 198,836 157.9 | 196,723 156.5 | 196,926 157.0 |
| 脳血管疾患 | 123,461 97.7 | 123,867 98.2 | 121,602 96.5 | 118,347 94.1 | 114,207 91.1 |
| 肺炎 | 118,888 94.1 | 124,749 98.9 | 123,925 98.4 | 122,969 97.8 | 119,650 95.4 |
| 慢性気管支炎・肺気腫 | 9,929 7.9 | 9,598 7.6 | 9,276 7.4 | 8,621 6.9 | 7,988 6.4 |
| ぜん息 | 2,065 1.6 | 2,060 1.6 | 1,874 1.5 | 1,728 1.4 | 1,550 1.2 |
| 胃・十二指腸潰瘍 | 3,233 2.6 | 3,110 2.5 | 3,132 2.5 | 2,828 2.2 | 2,795 2.2 |
| 肝疾患 | 16,216 12.8 | 16,390 13.0 | 15,980 12.7 | 15,930 12.7 | 15,692 12.5 |
| 腎不全 | 23,725 18.8 | 24,526 19.4 | 25,107 19.9 | 25,101 20.0 | 24,776 19.8 |
| 老衰 | 45,342 35.9 | 52,242 41.4 | 60,719 48.2 | 69,720 55.5 | 75,389 60.1 |
| 自殺 | 29,554 23.4 | 28,896 22.9 | 26,433 21.0 | 26,063 20.7 | 24,417 19.5 |
| 不慮の事故 | 40,732 32.2 | 59,416 47.1 | 41,031 32.6 | 39,574 31.5 | 39,029 31.1 |
| うち交通事故 | 7,222 5.7 | 6,741 5.3 | 6,414 5.1 | 6,060 4.8 | 5,717 4.6 |
| 合計(上記以外を含む) | 1,197,012 947.1 | 1,253,066 993.1 | 1,256,359 997.5 | 1,268,436 1009.1 | 1,273,004 1014.9 |

※1 「人口動態調査」(厚生労働省)によります。
 ※2 死亡数は、市区町村への届出数です。
 ※3 上記死因のうち、普通傷害保険・家族傷害保険、交通事故傷害保険・ファミリー交通傷害保険で補償されるのは、「不慮の事故」および「うち交通事故」です。

第14表 不慮の事故 種類別・年齢別死亡数(平成26年)

| 種類別 | 年齢別 | | | | | | | | | | 合計 |
|------------------------------|---------------|----------------|----------------|---------------|------------------|------------------|------------------|-------------------|-------------------|----|-------------------|
| | 0歳 | 1-4歳 | 5-9歳 | 10-14歳 | 15-29歳 | 30-44歳 | 45-64歳 | 65-79歳 | 80歳～ | 不詳 | |
| 交通事故 | 2 (2.6) | 29 (25.7) | 50 (49.0) | 34 (40.0) | 617 (57.0) | 557 (35.7) | 1,273 (26.4) | 1,835 (16.1) | 1,319 (6.7) | 1 | 5,717 (14.6) |
| 転倒・転落 | 3 (3.8) | 11 (9.7) | 5 (4.9) | 6 (7.1) | 91 (8.4) | 188 (12.1) | 788 (16.3) | 1,994 (17.5) | 4,859 (24.6) | 1 | 7,946 (20.4) |
| スリップ、つまづき及びよろめきによる同一平面上での転倒 | - | 2 (1.8) | 1 (1.0) | - | 11 (1.0) | 36 (2.3) | 320 (6.6) | 1,100 (9.7) | 4,046 (20.5) | - | 5,516 (14.1) |
| 階段及びステップからの転落及びその上での転倒 | - | - | - | - | 3 (0.3) | 20 (1.3) | 116 (2.4) | 292 (2.6) | 265 (1.3) | - | 696 (1.8) |
| 建物又は建造物からの転落 | - | 6 (5.3) | 3 (2.9) | 3 (3.5) | 47 (4.3) | 66 (4.2) | 118 (2.4) | 161 (1.4) | 121 (0.6) | 1 | 526 (1.3) |
| その他の転落 | - | 1 (0.9) | 1 (1.0) | 1 (1.2) | 21 (1.9) | 42 (2.7) | 158 (3.3) | 242 (2.1) | 180 (0.9) | - | 646 (1.7) |
| 生物によらない機械的な力への曝露* | - | - | - | - | 38 (3.5) | 78 (5.0) | 170 (3.5) | 147 (1.3) | 79 (0.4) | - | 512 (1.3) |
| 投げられ、投げ出され又は落下する物体による打撲 | - | - | - | - | 9 (0.8) | 20 (1.3) | 54 (1.1) | 53 (0.5) | 10 (0.1) | - | 146 (0.4) |
| 生物による機械的な力への曝露** | 1 (1.3) | - | - | - | - | - | 2 (0.0) | 7 (0.1) | 4 (0.0) | - | 14 (0.0) |
| 不慮の溺死及び溺水 | 2 (2.6) | 21 (18.6) | 32 (31.4) | 25 (29.4) | 129 (11.9) | 160 (10.3) | 741 (15.4) | 2,785 (24.4) | 3,592 (18.2) | 21 | 7,508 (19.2) |
| 浴槽内での及び浴槽への転落による溺死及び溺水 | 2 (2.6) | 11 (9.7) | 4 (3.9) | 9 (10.6) | 34 (3.1) | 55 (3.5) | 389 (8.1) | 2,013 (17.7) | 2,844 (14.4) | 1 | 5,362 (13.7) |
| 自然の水域内での及び自然の水域への転落による溺死及び溺水 | - | 5 (4.4) | 22 (21.6) | 14 (16.5) | 83 (7.7) | 87 (5.6) | 233 (4.8) | 334 (2.9) | 151 (0.8) | 15 | 944 (2.4) |
| その他の不慮の窒息 | 64 (82.1) | 34 (30.1) | 8 (7.8) | 8 (9.4) | 59 (5.5) | 181 (11.6) | 839 (17.4) | 2,565 (22.5) | 6,047 (30.6) | 1 | 9,806 (25.1) |
| 胃内容物の誤えん | 15 (19.2) | 6 (5.3) | 2 (2.0) | 4 (4.7) | 27 (2.5) | 65 (4.2) | 130 (2.7) | 320 (2.8) | 995 (5.0) | - | 1,564 (4.0) |
| 気道閉塞を生じた食物の誤えん | 3 (3.8) | 8 (7.1) | 3 (2.9) | 1 (1.2) | 10 (0.9) | 58 (3.7) | 480 (9.9) | 1,457 (12.8) | 2,853 (14.4) | 1 | 4,874 (12.5) |
| 気道閉塞を生じたその他の物体の誤えん | 4 (5.1) | 6 (5.3) | 1 (1.0) | - | 8 (0.7) | 7 (0.4) | 52 (1.1) | 224 (2.0) | 553 (2.8) | - | 855 (2.2) |
| 詳細不明の窒息 | 6 (7.7) | 7 (6.2) | - | 1 (1.2) | 9 (0.8) | 26 (1.7) | 112 (2.3) | 492 (4.3) | 1,600 (8.1) | - | 2,253 (5.8) |
| 電流、放射線並びに極端な気温及び気圧への曝露 | - | - | - | - | 4 (0.4) | 4 (0.3) | 13 (0.3) | 15 (0.1) | 9 (0.0) | - | 45 (0.1) |
| 煙、火及び火災への曝露 | - | 10 (8.8) | 6 (5.9) | 7 (8.2) | 21 (1.9) | 52 (3.3) | 188 (3.9) | 356 (3.1) | 439 (2.2) | 7 | 1,086 (2.8) |
| 建物又は建造物内の管理されていない火への曝露 | - | 9 (8.0) | 6 (5.9) | 7 (8.2) | 17 (1.6) | 43 (2.8) | 165 (3.4) | 270 (2.4) | 311 (1.6) | 4 | 832 (2.1) |
| 熱及び高温物質との接触 | - | - | - | - | 2 (0.2) | - | 7 (0.1) | 32 (0.3) | 69 (0.3) | - | 110 (0.3) |
| 有毒動植物との接触 | - | - | - | - | - | - | 5 (0.1) | 5 (0.0) | 10 (0.1) | - | 20 (0.1) |
| 自然の力への曝露 | 1 (1.3) | 2 (1.8) | - | 4 (4.7) | 38 (3.5) | 116 (7.4) | 369 (7.6) | 560 (4.9) | 799 (4.0) | 11 | 1,900 (4.9) |
| 自然の過度の高温への曝露 | 1 (1.3) | - | - | - | 3 (0.3) | 24 (1.5) | 72 (1.5) | 170 (1.5) | 258 (1.3) | 1 | 529 (1.4) |
| 自然の過度の低温への曝露 | - | - | - | - | 14 (1.3) | 61 (3.9) | 240 (5.0) | 365 (3.2) | 526 (2.7) | 10 | 1,216 (3.1) |
| 地震による受傷者 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 有害物質による不慮の中毒及び有害物質への曝露 | - | 1 (0.9) | 1 (1.0) | 1 (1.2) | 73 (6.7) | 188 (12.1) | 217 (4.5) | 121 (1.1) | 74 (0.4) | 1 | 677 (1.7) |
| 無理ながんばり、旅行及び欠乏状態 | - | - | - | - | 1 (0.1) | 4 (0.3) | 14 (0.3) | 5 (0.0) | 5 (0.0) | - | 29 (0.1) |
| その他及び詳細不明の要因への不慮の曝露 | 5 (6.4) | 5 (4.4) | - | - | 9 (0.8) | 31 (2.0) | 199 (4.1) | 965 (8.5) | 2,442 (12.4) | 3 | 3,659 (9.4) |
| 合計 | 78 (100.0) | 113 (100.0) | 102 (100.0) | 85 (100.0) | 1,082 (100.0) | 1,559 (100.0) | 4,825 (100.0) | 11,392 (100.0) | 19,747 (100.0) | 46 | 39,029 (100.0) |

※1 「人口動態調査」(厚生労働省)によります。
 ※2 死亡数は、市区町村への届出数です。
 ※3 *物体との衝突・打撲、物体への挟まれ、機械・工具との接触、ボイラーほか加圧された装置の爆発等を含みます。
 **他人による叩かれ・打撲・蹴られ、他人との衝突、犬ほか哺乳類による咬傷・打撲、無毒動植物との接触等です。
 ※4 ()内は構成比(%)です。

第16表 わが国在外公館が取り扱った事件・事故に係る援護件数〈平成26年〉

| 事件・事故の種類 | | 地域 | | | | | | | 合 計 |
|----------|-------------------|-------|-----|-------|-------|-------|-----|------|----------------|
| | | アジア | 大洋州 | 北 米 | 中南米 | 欧 州 | 中 東 | アフリカ | |
| 事故・災害 | 件 数 | 101 | 6 | 35 | 11 | 17 | 5 | 19 | 194 |
| | 人 数 | 144 | 16 | 58 | 14 | 24 | 7 | 82 | 345 |
| 犯罪加害 | 件 数 | 231 | 12 | 72 | 14 | 44 | 3 | 2 | 378 |
| | 人 数 | 254 | 13 | 73 | 15 | 44 | 3 | 2 | 404 |
| 犯罪被害 | 件 数 | 1,325 | 99 | 486 | 297 | 2,632 | 54 | 147 | 5,040 |
| | 人 数 | 1,366 | 103 | 580 | 324 | 2,797 | 58 | 155 | 5,383 |
| その他 | 件 数 | 4,328 | 377 | 5,067 | 706 | 1,635 | 233 | 165 | 12,511 |
| | 人 数 | 4,481 | 396 | 6,142 | 1,434 | 1,708 | 243 | 188 | 14,592 |
| 合 計 | 件 数 | 5,985 | 494 | 5,660 | 1,028 | 4,328 | 295 | 333 | 18,123 |
| | 人 数 | 6,245 | 528 | 6,853 | 1,787 | 4,573 | 311 | 427 | 20,724 |
| | (内 死者) (内 負傷者) | | | | | | | | (522) (396) |

※「海外邦人援護統計」（外務省）によります。